

DENKO

激江

2008年 44号

三者座談会—理事長・学長・同窓会会長—

新たなキャンパス構想に夢膨らませて

特集 **ズームアップ経大人**

梅井靖弘氏 森田俊作氏 中林五十一氏 松田秀雄氏

重宗雅彦氏 相良 徹氏 高岡伸夫氏 矢倉英一氏

今井彰宏氏 奥内芳和氏 作田 拓氏(順不同)



新キャンパスのイメージ

DENKO 激江

2008年44号

01 新校舎紹介

03 三者座談会

新たなキャンパス構想に 夢膨らませて

09 トピックス

国際交流課(留学生)

10 学園の知的財産をたずねて

11 支部だより

21 同窓会支部長一覧

22 北から南から

27 OB・OGネットワーク

37 体育会連絡協議会・大樟教育研究会

38 税理士大樟会・社労士大樟会

39 ゼミ短信

42 先生の近況

43 新刊紹介

44 本部だより

46 総会報告

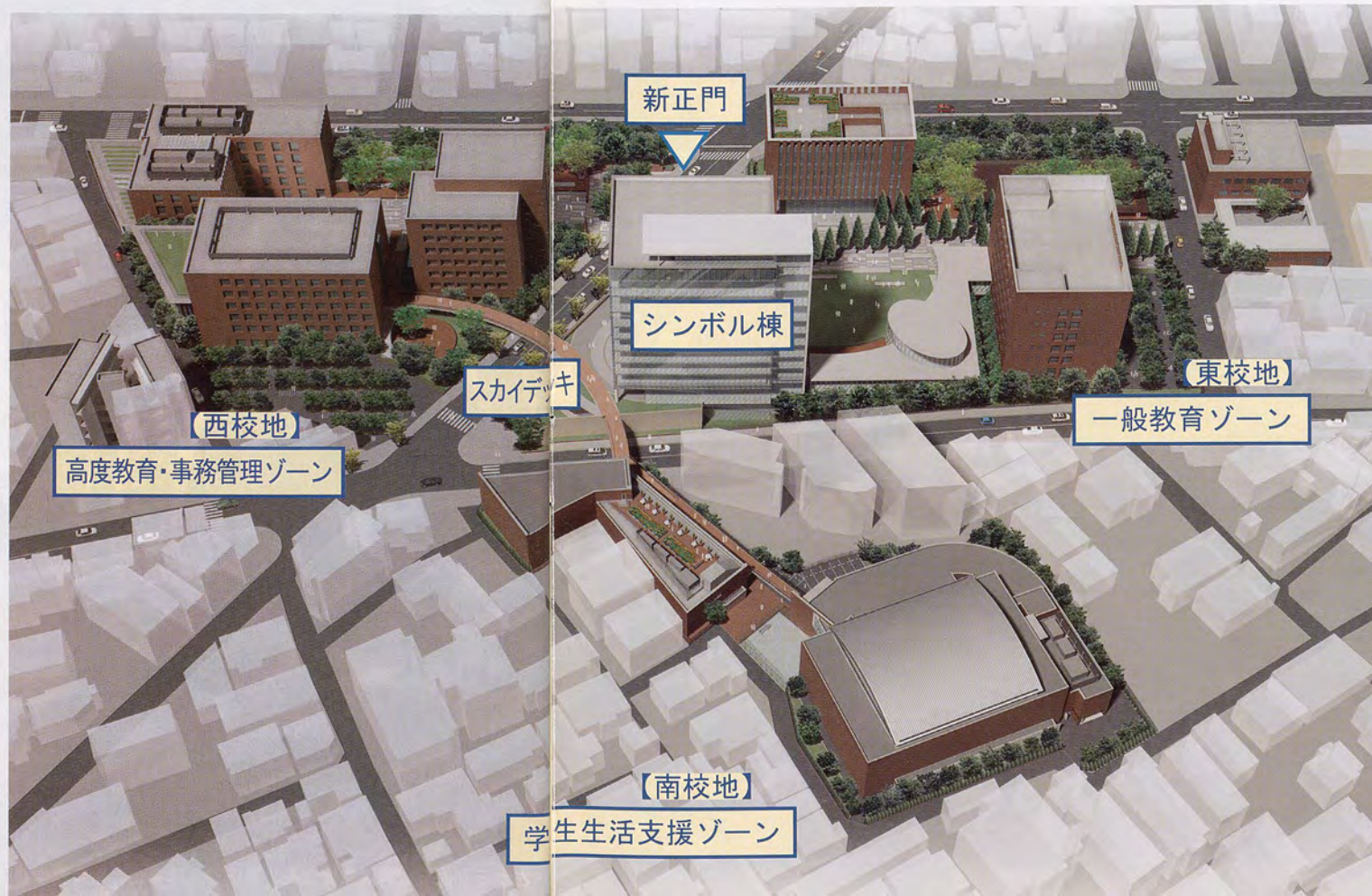
47 ズームアップ経大人

梅井靖弘氏/森田俊作氏/中林五十一氏/
松田秀雄氏/重宗雅彦氏/相良 徹氏/
高岡伸夫氏/矢倉英一氏/今井彰宏氏/
奥内芳和氏/作田 拓氏

53 2008年の入試・就職状況



新校舎イメージ



新キャンパスイメージ

ますます発展する大阪経済大学
2014年度完成予定

三者座談会

新たなキャンパス構想に
夢膨らませて

理事長が代わり、同窓会長も代わった。そんな中で2009年から6年後の完成を目指したダイナミックなキャンパス構想が始動する。一方で少子化・大学全入時代という大学を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、大学の統廃合や系列化、中・高等学校などの抱え込みといった具合に、各大学間で生き残りをかけた対応が目につく。こうした中で、本学は2012年に創設80周年を迎える。母校経大の舵取り役を担う理事長、学長、同窓会長の3人にお集まりをいただき、この「経大丸」の航路をどう取っていかようとしているのかを聞いてみた。

(聞き手は同窓会常務理事・広報部長 平田義行)



左から 佐藤武司同窓会会長、勝田泰久理事長、重森暁学長

― まず、前任の真銅理事長に代わって勝田理事長就任の報は、さきのKEIDAIDAYSで報道され、全国の同窓生も承知のことですが、勝田さん自身の本学との関わり、理事長就任の経緯について、同窓生の最大の関心事になっております。この辺からお伺いしたい。

勝田 銀行にいたときはまだ61歳、トップになって2年、合併した直後でいろいろな構想を持ち、その対応に追われていた最中でありましたが、諸般の事情と申しますか、大きな税金を導入していただいた責任を取って辞任し、1年間浪人しておりました。そんなときに井阪元理事長から「学校へ来て教壇に立つてくれないか」とお誘いを受けました。38年間銀行業務には精通していた積りですが、さしたる勉強もしていないし、他の先生に迷惑をかけてはと思いましたが、お役に立つようであればと非常勤講師をお引き受けしました。最初は受講してくれる学生が少なくて失望したのですが、3年前経営情報学部の特任教員になり、コーポレート・ガバナンスについて講義をし、ゼミも受け持たしてもらいました。これは非常にやりがいがありました。元気をいただきました。今は井阪さんに変感謝しています。

― 井阪さんとは以前からの知り合いです。

勝田 東証の副理事長をしてもらった頃、私が全銀協の委員として会議に出ていた際にお会いしていました。また平和不動産の社長をしておられた時はお取引先でもありましたし、よく存じ上げておりました。

― さて、銀行経営という実社会の経営は経験されておられますが、学校経営となると大変落差も大きいだろうと思えますが。

勝田 経営トップの座は2年しかやっておりませんので、経営者としてふさわしいかどうかは解りませんが、銀行経営と学校経営とは全く異なるものであり、そんな簡単なものだと考えておりません。ただ、この1年間学校の理事をやらせていただき、校地校舎検討委員会の委員長をやらせていただいて、学校の全容を見ることができましたし、それになりよりも一番大きな理由は、77歳の高齢の前理事長から「若返りだ」としてご指名を受けましたので、お引受けした次第です。

……
もはや象牙の塔ではあり得ない

― 学長にお伺いします。このところ財界の大家、金融、証券界からの理事長就任が続いておりますが、どんな感じで受け入れておられますか。

重森 勝田理事長は3年前から本学

の特任教員をしていただいておりますし、改めて金融界から理事長を迎え入れたという感じでは受け止めておりません。ただ、本学は地域社会、企業社会、国際社会に開かれた大学を目指し、多彩な職業人の育成を標榜しております。その意味から学者ばかりで大学の運営をやっておりますと、ややもすれば視野も狭くなりますので、経済界から経験豊富な方々がお入りいただくことは、大変結構なことだと歓迎しております。大学が社会的役割を果たしていくには、昔のような象牙の塔であっては成り立たない時代ですから。



― 勝田泰久理事長



— 重森暁学長

舎を取り壊すのはもったいないという人もおられます。しかし築後40年たった校舎が4棟もあって、中には耐震上問題があるというのもある。学生の命を預かっている以上、学校における安心、安全を一番に考えるのは当然のことだと考えております。まず、そこをきっちりやれば、次に機能面を考えねばなりません。この大学は狭い校地に加え、まんなかに公道が走っており、3つに分割されている。授業が終わるごとに学生や先生方も横断歩道をうろうろする。こうした安全面と時代に即した教

伝統を生かした都市型複合大学を目指す

— 学長はかねがね社会・人文系の総合大学を目指すという構想をお持ちでしたが、このキャンパス構想の実現によって一歩踏み込んで学部、学科の増設といった拡大路線に進むおつもりですか。

重森 06年度から08年度の第2次3カ年計画が今年で終了します。そし

— 同窓会長はどうみておられますか。

佐藤 私が同窓会にかかわったのは田中会長の時からですから、ざっと6年。同窓会も若返ろうと30回卒以降のスタッフで運営することになりました。そこで同窓会として何をしていくのか、学校側から同窓会に対してどういう希望があるのか、その辺をすり合わせていかななくてはと考えております。

勝田 先程重森学長からおっしゃっていただきましたが、いきなり銀行から落下傘で降りてきて、さあ学校経営をやれと言われても、できなかつたと思います。特任教員という肩書ですから学部の役員はやらなくていいのですが、高校へ行つて模擬授業をやつてこいと言われればやりましたし、オープンキャンパスで高校生が集まってくる時、学長と一緒にTシャツを着て学生の中に入り、入試の監督はダメですが、期末試験の監督はやりましたよ。20分過ぎたら教室に入れないというのを目の当たりにし、大学つて厳しいところだなと思えましたよ。(笑)

— ところで経大の学生気質をどう見ておられますか。

勝田 一言で言うとおとなし過ぎます。先般ある銀行の方がお見えになつて言つておられました、入社試験の面接の際、5、6人で討議してもらおうのです

が、経大生は全く目立たない。これでは企業は受け入れられない。

重森 真面目というか、おとなしい学生が多いですね。でもだんだん元気のいい学生が増えてきていると思いますよ。

佐藤 われわれの時代は、貧しい時代で、大学の進学率は12%位。そこへ日本企業がどんどん大卒者を採用するという時代でしたから、学生も元気がありませんたよ。

勝田 企業の採用する立場から言うと、有名大学で「優」の数の多い者を探ればそれだけ無難なんです。しかし、それで本当に企業で役立つ人間が採れているのかと言っているんです。ある証券会社の人が「経大を出て運動部でキャプテンやマネージャーをやつていて、健康で、元気のいい学生をよこしてください。後はわれわれで教育します」と言っておられました。

佐藤 塾での教育が学校によって序列が決まるといふ方向にあるものですか、元気のいい子が育たない。

勝田 学校の運動会でも1等、2等をつけたい。それでいて学校に序列をつけるのはおかしいですよ。

80周年にふさわしいモニュメントを

— 話は変わりますが、勝田さんは校舎検査検討委員会の委員長として6年後

育環境を作り上げないといけない。この際申し上げておきますが、やはり80周年の記念事業として展開することになりましたので、同窓会の皆さんにもぜひ記念募金の面でお世話になろうかと思っておりますので、その際にはよろしくお願ひします。

— 随分派手なデザイン設計になっていますね。

勝田 新幹線からも、もう少し露出度を高めて、大隅の地に経大の存在感を出したいと思っております。ただ、新たな用地を求めるところもありませんし、現在の校地の上に従来通りの授業をやりながら工事を進めていく予定です。いづれにしても、誰か声高の人の発言で、こうした構想が出来上がったのではなく、皆さんの賛同を得てプランニングできたことをご報告しておきます。

の完成をメドとするキャンパス構想を打ち出されました。この狙いは。

勝田 ハード、ソフト両面で80周年にふさわしいキャンパスをと考えております。ソフト面は学長からお話をしていたべくとして、何か記念に残るものをやりたいですね。70周年の時も記念館や記念講演会などのモニュメントをやりましたね。私は自分の大学が80周年の時を経験しましたが、やはり記念講堂が出来たりしたのを覚えております。だから今回あのようなキャンパス構想を打ち出したのですが、卒業生の中には現在でも立派な校



て09年度から始まる第3次5カ年計画を、今全学企画委員会でタタキ台を作っているところです。その際2012年の80周年の時よりもより100周年を迎えた時、本学はどうなっているのかを含めて検討しております。その前提となるのは、まず大隅の今の校地を基盤として考える。地下鉄の駅ができ、交通の便が良くなったという地理的条件、それに伝統を生かした未来につながる大学を作る。そうなった場合に、これまで社会・人文系の総合大学を目指すということを申し上げてきましたが、少子化の社会環境の中で、学部を増やしてポリウムアップするよりは、都市型複合大学として伝統を生かした未来につながる大学を目指すという方向にあると思います。

勝田 今学長が言われたように、大阪市内にある大学ということをもっと強調していいと思います。それから会社法などは経済や経営学部でもやっております。法学部でなければやれないというものはない。経営情報学部でコーポレート・ガバナンスをやっているんですよ。企業が何を求めているかを考えて教えてやれば、学生は目の色を変えて聞いていますよ。現在社会が要求しているからと言って、ハウトゥものこにこだわってはいけません。やはり大学ですから経済原論なり、法律原論を教え、社会に出てからこういうものだったのかと気付くことだつていいと思いますよ。

重森 研究の面でも本学は中小企業・経営研究所、日本経済史研究所がありすが、中小企業の研究面ではナンバーワンという実績を持っており、日本経済史研究所も韓国、中国を中心とした東アジアの経済研究のメッカとして存在感を持っており、10年先にも大きな期待を寄せています。それからミッションスターメントの中で多彩な職業人の育成ということを謳っておりますが、学部卒業生の場合は幅広い職業人の育成、大学院卒業生は会計士などの高度専門職業人の育成、それに加えて生涯教育の育成拠点としての位置付けが必要ではないかと思っております。18歳人口は減少しますが、社会の高等教育に対する需要はむしろ増加傾向にあります。いろんな形でこれからの社会人は勉強したいと思っております。その意味から北浜キャンパスをもっと充実させなければいけないと思っております。

金融界へ人材を送り込みたい

— 大阪市東淀川区と業務提携して地域に開かれた大学としての役割も果たしておりますね。

勝田 いまでも大学の図書館を一般開放しているのですが、どうも入りにくいようです。こんどのキャンパス構想が実現すれば、土日でも一般公開し、利用

していただやすい環境づくりをしたいと思います。そうすれば60万冊の蔵書がもつてきます。それから大言壮語はできませんが、私の持っているチャンネルで1人でも多くの学生を送り込み、経大卒の学生がそんな会社に就職しているのかと言われるようにしたいと思っております。自分が銀行員だったから言うわけではありませんが、経大卒で金融機関に就職している者が15・1%を占めている。これを20%にまで引き上げたい。この5月に進路支援センターの部長に頼んで経済学部だ、経営学部だというタテ型の取り組みではなく、全学生を対象に、金融機関に就職を希望する者を集めてもらった。100人程度と見込んでいたのが、2、3年生を中心に300人の学生が集まった。今度は本学を出て銀行、証券、損保業界で活躍している卒業生に話をしてもらおうと思っております。金融関係にこだわるのは、この大学は経済・経営系の学校じゃないですか。関関同立は30%台です。これが塾の先生を通じて受験生に伝わっている。経大もこの数字を高めれば自然と評価は上がる。

後援会との連携も視野に

— 全国で短大も含めて565校もあると言われておりますので、本学に対する誇りを持ってもらわないといけませんね。それでは最後になりますが、同窓会に期待するもの、学校と同窓会の関係はどうあるべきかを伺ってみたい。

佐藤 校友会というところまでいかなくても、同窓会に対する学校の窓口だけでもはつきりしていただきたいですね。

勝田 それは当然考えねばいけません。

重森 それに昔は地方自治体に多くの卒業生を送り出している。これにも力を入れなければいけません。話は変わりますが、リクルートが調査した志愿したい大学で、本学は男子だけでは15位に位置しております。

重森 今年初めて卒業生に本学に対するアンケートを取ってみた。23%程度の回収率しかなかったのですが、その中で大学での4年間にどの程度満足したかを問うてみたところ86・4%が満足しているとし、本学に82・2%の者が愛着を感じていると答えている。はじめてやった試みですが、大学としても卒業生に対するアプローチ、アフターサービスを忘れてはならないと思えました。大変難しいことだと思えますが、卒業したら終わりでは「つながる力」を何のために標榜しているのかということになりますし、卒業後も接点を持っていたできるようにしたい。

ムを作っておくことが大切ですね。

佐藤 まあ学校側とどうすり合わせを取っていくか、いずれにしても双方が情報の交換を密にして、やっけていくことだと考えております。そしてお互いに理解し合うことが大切ですね。

— どうも長時間、貴重なご意見ありがとうございました。

重森 先程8万人の卒業生と言われましたが、実質把握しているのはその半分。これを5万人、6万人と増やすことによつて「つながる力」も倍増してくるわけですし、卒業後の本学の学生とのつながりをどう付けていくか、これをしっかりとしていかねばなりません。

佐藤 学部別同窓会を考えてみてはどうでしょうか。国公立大学ではそれが主流を占めています。いずれにしても、今からすべての卒業生の所在を見つけて出すのは不可能に近い。だとすれば出口の段階で、つまり卒業前にゲットし、同窓会に出てくる環境を作る。まあこれまでやってこなかった後援会の方々と連携

佐藤 そうしないと80周年で同窓生に寄付をと言っても何を言っているんだということになる。

勝田 卒業してもやはり横のつながりを大事にしていけないと。それに話は変わりますが、奨学金を返さない学生が多いと聞きましたが、そのお金で卒業し、社会的にもそれなりの地位を得たのだから、いち早くありがとございましたと返すべきではないでしょうか。



— 佐藤武司同窓会長

佐藤 お金は出し辛いですね。

重森 学生時代に先生にお世話になったという思いがあれば、それは出しやすいでしょう。だから一人一人の先生、教職員が親身になってお世話をするシステム



世界につながる国際交流

国際交流課では、留学生の学習・生活支援と、日本人学生の海外留学サポートを行っています。現在、本学で学ぶ外国人留学生数（学部・大学院の正規課程在籍者数）は115名。2004年度に開始した海外留学制度を利用して長期留学を実現した学生は、今年度までで延べ44名になります。このページでは、大経大の国際交流の取り組みについてご紹介します。

海外ネットワークは25大学

長期留学者数（'04～'08年度延べ人数）

北米	17名
ヨーロッパ	4名
オセアニア	8名
中国	9名
韓国	6名

短期語学研修参加者（2007年度）

英語研修（ニュージーランド）	23名
中国語研修（中国・北京）	8名
スペイン語研修（メキシコ）	5名

- アントワープ大学 (ベルギー・アントワープ)
- ユーテボリ経済・商法大学 (スウェーデン・ユエーテボリ)
- エクセター大学 (イギリス・エクセター)
- ノルマンディ・ビジネススクール (フランス・ルアーブル)
- フルトヴァンゲン大学 (ドイツ・フルトヴァンゲン)
- 首都経済貿易大学 (中国・北京)
- 復旦大学 (中国・上海)
- 東北財経大学 (中国・大連)
- ハルビン商業大学 (中国・ハルビン)
- 西安外国語学院 (中国・西安)
- 西北大学 (中国・西安)
- 貴州財経学院 (中国・貴州)
- 台中技術学院 (台湾・台中)
- 漢陽大学校 (韓国・ソウル)
- 韓世大学校 (韓国・ソウル)
- 済州大学校 (韓国・済州)
- ウィットワース大学 (アメリカ・ワシントン州)
- メンフィス大学 (アメリカ・テネシー州)
- ベラクルス州立大学 (メキシコ・ベラクルス州)
- ダルマプルサダ大学 (インドネシア・ジャカルタ)
- バンコク大学 (タイ・バンコク)
- ハノイ外国語大学 (ベトナム・ハノイ)
- 外国貿易大学 (ベトナム・ハノイ)
- モナシュ大学 (オーストラリア・メルボルン)
- ワイカト大学 (ニュージーランド・ハミルトン)

2008年4月現在
ヨーロッパ、アジア、アメリカなど
15カ国
25大学
と提携

海外留学支援 ～長期留学からショートプログラムまで、自分にあった留学を実現～

大経大には、相互派遣協定を結んでいる海外協定校への「派遣留学」、協定校以外の大学へ本学に在籍したまま留学できる「認定留学」という2つの留学制度があります。留学期間は半年から1年間。双方ともに留学先で修得した単位は、本学の卒業所要単位として認定可能です。学費に関しては、「派遣留学」は全額免除、「認定留学」は大経大の授業料相当額を支給します。一方、約3週間のショートステイで異文化を学ぶ「語学研修」があり、一人ひとりの目的に応じた、国際交流を体験することができます。



英語研修にて（ニュージーランド）

キャンパスでできる国際交流

大経大には留学生の居住施設を兼ねる国際交流会館があり、キャンパスも年々国際色豊かになっています。より深い交流を望む学生は、「国際交流会館サポーター」としてこの施設に居住、生活を共にできます。また「国際留学生チューター」は、留学生の学習面の支援や、年間を通じて行われる交流イベントの企画・運営を行う学生スタッフ。日本にいながら、海外の友人をつくる機会が豊富にあります。



留学生数(2008年5月1日現在)

学部留学生	91名
大学院留学生	24名
交換留学生	10名

留学生の出身国（正規留学生）
中国、モンゴル、台湾、韓国、
バングラディッシュ、カンボジア、
ベトナム、チュニジア、ドイツ

留学生の主な出身国（交換留学生）
中国、韓国、米国、スウェーデン、
メキシコ

お問い合わせは国際交流課まで 電話 (06) 6328-2431 (代表)

発足2年、着実に成果

地域活性化支援センター



研究成果を発表する学生グループ

実践してきましたが、それなりの成果を挙げつつあります」と満足げ。同センターが掲げる5大プロジェクトの1つである、地元大阪市東淀川区の老人福祉センター屋上に年間出力8キロワットの太陽光発電所の設置計画では、その建設資金の半分をNEDOに補助金申請するなど、その活動も本格化してきた。また地元よしがわ地区の環境・省エネ問題で「ECOまちネットワーク・よしがわ」の結成を呼びかけ、滋賀県の一菜の花プロジェクトを見学して実際に菜の花を栽培し、菜種油を精製したり、廃食料油の回収など資源循環システムの形成に取り組んだり、地域金融システムの検討、環境支援国際交流の展開と、エゴを中心とした多彩なプロジェクトに挑戦している。

2004年10月、C館のリニューアルと同時に誕生した地域活性化支援センターは、「大学での学習を通じて社会に貢献しよう・貢献できる」を合言葉に、学生、教授、地域住民が一体となってプロジェクトの開発に取り組んでいる。

この仕掛け人の一人である同センター長の遠州専美経済学部教授は「発足して丸2年、地域に開かれた体験型、環境のまちづくり教育を実

今後の展開についても「環境問題に次いで大切なことは、福祉や子育て問題ではないでしょうか。ワーキングプアー、ホームレス問題など格差社会の進む中で、ボランティア活動などを通してどのように貢献できるのか、学生と共に考えてみたいと思います」と地域社会との取り組みに情熱を燃やしておられた。

Visit intellectual property.

知的財産をたずねて

「土曜講座」の講師になりませんか 北浜キャンパス

商都・大阪のメッカ北浜の大阪証券取引所内に「北浜キャンパス」が開校されて3年半。本学の理念「人間の実学」を基本テーマに、実用的な「教養」と「学び」を社会人に提供しようと開設されたこのキャンパスは、着実にその成果を発揮している。

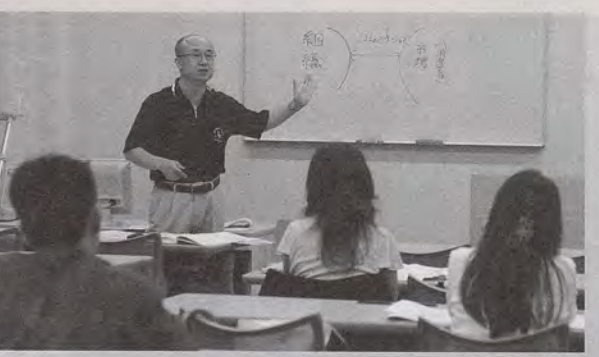
この3年間に、博士前期課程、修士課程を目指す「社会人大学院」では、2回にわたって延べ75人の卒業生を送り出し、短大・専門学校を卒業した人を対象に、2年間の学習で本学経営学部第2部に編入できる「経大イブニングスクール」では、20名の卒業生を生んだ。

また、経験豊富な社会人が講師を務める「北浜土曜講座」は、春学期、秋学期と年2回に分けて行われており、1講座（7回）2万円で受講できる手軽さもあって好評を博している。

面白いのはこの講座の講師を一般募集していることで、事務局を担当している日高靖和課長は「この講座を受講していただくことは、もちろん歓迎するところですが、同窓生の方で実社会での経験を、こうした場で講師として生かしてもらえればと期待しています」と、O.B.・O.G諸氏の参加を呼び掛けている。

また、同キャンパスでは、2009年4月から「経大ファイナンスアカデミー」と称する講座を開講する。企業の資産運用やファイナンスの入門から応用、さらには株式公開の実務といった細部にわたる講座が組まれており、企業の財務担当者や金融機関の担当者に受講を呼び掛けている。

【お問い合わせ】
06(6231)1570





北海道のじゃがいもパワー

北海道支部

北海道支部の集いは、毎年札幌市内で開催され、少人数ながらも和気あいあいと楽しんでいます。
(一)数年、母校の大樟教育研究会に出席し、活気溢れるキャンパスを垣間見る機会を与えられ感謝している。同窓教職員諸氏との交流も意義深く多くの示唆を受け「つながる力」そのものである。



つながりついでに、連なつて出てくるのがじゃがいも。北海道は生産量、収穫量とも日本一、今年「国際じゃがいも年」地元で食する味は格別である。原産地の南米からヨーロッパに持ち込まれて以来、飢饉や戦争の度に広まり「貧者のパン」として歴史を支え、つないできた。おいもの種類と料理の多さは天下一品。十勝に移住して30余年、イモパワー全開である。
池田正勝(34回)

同窓会に出席して

東京支部

今回、同窓会(東京支部)に後輩の妻と初めて参加させて頂き、緊張致しましたが、多くの諸先輩方が活躍されていることを知り、感銘を受けました。同時にまだまだたくさんの方を学んでいかなければならぬと、4年間この地で仕事をすする中、忘れていた自分の原点に少し戻れた様な気が致しました。妻は、学生時代に淀川の河川敷を自転車で行った時に感じた風のおいさをなつかしく思い出し、平凡に過ぎ去ったかの4年間で、こんなになつかしく、貴重なものになり、2人にとつて、大経大卒という事が強い自信に変わった時間でもありました。これ



からも社会で活躍される多くの卒業生の方々にお会いできる事を期待しております。
磯部達也(57回)
恵子(64回)

母校の将来に思いを馳せて

富山支部

富山支部は本年7月12日(土)に富山電気ビルにて総会を開催し、会員の皆様と交流と親睦を深めました。電気ビルは戦前に建てられたアルデコ様式のビルで、富山県庁と共に戦災でも焼け残り現在も現役で活躍しています。当日は同窓会本部より齊貞文総務部長と大学から高橋努経営本部長のご出席をいただき、和やかな雰囲気の中で行われました。



大学の近況をお聞きしましたところ、ついに大学前に地下鉄駅が開設された

「ちやらんぼらん」の 富吉真氏が講演

福井支部

福井支部総会は6月29日(日)、大学から高塚邦夫事務局長、同窓会から中村敏啓副会長のお2人を来賓として迎え、福井ワシントンホテルで開催しました。また、懇親会に先立ち、大経大同窓



支部長 重松尚(23回)

全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ

支部発足満10年の今回は大学の高塚事務局長と同窓会神田組織部長の来席を頂き、歴史上の人物山田長政直近の店「魚兼」で8月に開催した。夏は個人的にも行事が多いと思われるにも拘わらず天竜や熱海のように遠い地区から静岡に顔を出して下さる常連諸氏に感謝する話と、出席者数が増えつつある話と、大学のスポーツ成果向上の話その他盛り上った。中には海外旅行の常連や海外に子供が生まれて成長し今回面会に行った人の話も出た。また、業務上の連絡を約束したり紹介し合いの出合いもありました。この文面を

支部発足10年を祝う

静岡支部

生で、関西のお笑い界で一世を風靡した吉本興業の「ちやらんぼらん」富吉真氏を招き、「波乱万丈の吉本人生」と題した講演会を開催しました。漫才界、吉本興業の裏話、在学中の上新庄界限の話、福井テレビにレギュラー出演していた頃の話などを、「中途半端やなあー」の軽妙な話し振りで参加者を笑いの渦に巻き込みました。
懇親会は来賓のお2人と富吉氏を囲み、若い卒業生から昔々の卒業生まで一堂に会し、大学という共通話題で楽しいひと時を過ごしました。
なお、福井支部では若い卒業生の同窓会参加が非常に少ない現状に鑑み、今後も今回のような催しを企画して同窓会活動をPRすると同時に卒業生全員に同窓会への参加を働きかけていくことにしています。
支部長 石橋隆夫(32回)

見た静岡県内の同窓諸氏にお願いし、決して肩ひじの張る会合ではありませんので是非積極的に参加し、気軽に面談して下さい。
支部長 磯田郷一郎(26回)



60回目の支部総会

愛知支部

平成19年度愛知支部総会を、平成19年10月20日(土)名古屋駅前ホテルキャサスルプラザにおいて開催致しました。当日は母体より、本学教授 柏木正(人間科学部長先生をはじめ同窓会副会長 津秋靖博(29回)様、同窓会常務理事 斎貞文(30回)様の「ご来賓を迎え開催致しました。
総会は鴨下幹事(38回)の司会により、愛知支部 明田支部長の開会の挨拶で始まり、「ご来賓挨拶に移りまして、柏木教授より大学の現状について詳しくお話を頂き、同窓会 津秋副会長よりは、同窓会の現状、問題点について話がありま

した。斎常務理事の話の中において、名古屋駅構内で燃えよドラゴンズの歌を聴き、中日ドラゴンズの優勝に沸いている町を感じたと、感想をお話して頂きました。梅垣会計幹事(39回)より、会計報告がありました。
続いて、懇親会に移り、10回卒業の翠忠明前幹事の乾杯発声によつて、宴会が始まりました。その話の中で、愛知支部は今回で60年目の総会に当たるとの発表もありました。長い歴史のある支部です。今回は25名の参加者があり、初参加のメンバーや、若いメンバーも、多く参加して頂きました。次回もぜひとも参加す



支部再建と今後

北摂支部

る、との声も多くあり、今後の発展を期待出来ます。
宴も盛り上がる中、閉会の挨拶を矢井久義(23回)、締め発声を久保康夫(23回)によつて行いました。名残惜しい中、愛知支部総会は無事終了致しました。
副支部長 五十橋保彦(32回)

支部を再建しました。今後のあり方を模索していますが、「ゆつたりと心豊かな懇親と連帯」をモットーに大学同窓会としてのユニークな活動を基本と致します。



大阪経済大学同窓会北摂支部総会



支部の連帯のための同好会、会員の思いや、経験豊かな知識を活かしたサークル、ゼミ形式の研究会、地域貢献型NPO等の結成が望まれます。また支部活動をささげる財政のために経済活動が出来ないか、多様な会員の意見と協力が必要です。

他方で近くの支部との交流で同窓生の輪を広げ、大学の先生方のお話も聞き活動を充実させていく予定です。9月頃より釣同好会、歴史と山野のハイキング隊を立ち上げます。大学80周年記念のために募金活動を始めます。

偶感

北河内支部

いつまでもあると思うな「親と金」を見送つてもう20年、よく言われた諺ですが、本当に親に死なれないと解らないものです。今は家内の努力と、健康の有難さを痛感、よくも今まで生きさせて頂いたものと全ての方々に感謝して居ります。

この度、同窓会の北河内支部、立ち上げ委員会に参加、計らずも、最年長との事、支部長に推されましたので微力ながら勤めさせていただきます。第47番目の支部として、若い方々への働きかけと結束を計り、本学の誇りを高め、これからの時代の大学院大学への発展と企画、同窓生の交流の支部にして行きたいと存じます。

すべて咲く、花は、嘆かず
今を生き
健康に気をつけて頑張りましょう。

支部長 有山和雄(12回)

豊中支部行事予定

豊中支部

- 一 豊中支部通常総会・懇親会
平20年10月12日(日)
ホテルアイボリー
- 二 第13回豊中・丹有支部親睦ゴルフ大会
三田カントリー 27
平20年10月15日(水)
- 三 秋のハイキング
若山神社・水無瀬溪谷コース
平20年11月16日(日)
- 四 麻雀大会 麻雀店ボソ
平21年3月29日(日)
- 五 春のハイキング
なにわ自転車道を歩く
平21年4月5日(日)



六 第14回豊中・丹有支部親睦ゴルフ大会
三田カントリー 27
平21年5月20日(水)

- 七 カラオケ大会 アン・プルミエ
平21年6月14日(日)
- 八 ボーリング大会 ボウル曾根
平21年7月12日(日)
- 九 読書会 簡保の宿「有馬」
平21年9月13日(日)

参加希望者、事務局
上田敬二郎(52期)迄
電話番号及びFAX
(06)683113984
支部長 青木昭生(34回)

堺支部のテーマ「組織と親睦」に今年も結集

堺支部

平成19年度堺支部総会、平成19年11月17日(土曜日)、例年通り堺リーガロイヤルホテル、春慶の間にて開催致しました。来賓に人間科学部教授 中尾美喜夫先生、同窓会副会長 水納敏也、同窓会副会長 中村敏啓、同窓会事務局局長 竹中亨各氏のご出席を頂きました。

1部 総会

まず、支部長より開会の挨拶があり、本年度は11人の副支部長より、各担当区、市の卒業生に電話による総会参加を呼びかけて頂きました。この1〜2年堀本が学校、同窓会等に感じた事を申し上げます。という事で現教授陣の専門分野によるマスコミを利用して全国的に論客を広めてマスコミを眠わして欲しい。関西はともかく、全国の卒業生はそれを持ち望んでいる。運動部も7クラブ、10



クラブにしばって重点的に学校側より支援し、全国レベルにはどうか。寮を建て、主力運動部員を寮に入室。学校に対しては15年〜20年前より少子化が判っているのに、何の長期ビジョンも計画もなく、今になつても他の学校の計画に遅れをとっているのは何故か。卒業生は今一度出身高校を訪ねて大経大のPRをしてはどうか。学校の校名変更を考える位の大胆な改革をする発想が欲しい、との挨拶があり、その後水納副会長より現在の学校の現況説明があり、堀本支部長より本年度事業報告、次年度の事業計画の発表があり、親睦会の活動状況、旅行部、馬場啓允(26回卒)、ゴルフ部、橋本栄志(31回卒)、懇話会、見学捷太郎(28回卒)、各担当者より、本年度

全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ

大阪経済大学同窓会堺支部(堀本修支部長)は同支部の活動のひとつである第4回懇話会を開催した。平成20年2月23日(土)午後1時〜3時、堺市北区のじばしん南大阪に同窓生40名が集まり、初参加の人も回毎に増えて盛況にたつてきました。

第4回懇話会開催

堺支部

講演会では中尾美喜夫先生による「運動と健康づくり」というタイトルでお話を頂き、会員比較的年齢が高いため、歩行の仕方、高齢者の運動の仕方等、全員メモを取りながら先生の話に聞き入っていた。椅子に掛けている時でも運動が出来る仕方を教えて頂きながら無事に終了しました。

支部長 堀本 修(24回)



化天然ガスを我が国に導入する草分け的ビジネスに参画した苦勞話などを通じ、引退後は国際交流で海外諸国(現役時代の経験を生かし訪問、地域貢献をしながら国際交流の必要性を話してくれました。

第2部は今回はじめて大学同窓会本部から水納副会長(理事)、田村常任理事の出席を得て、参加の同窓生との懇談会が持たれた。大学の現状や同窓会への要望を真剣に討議することが出来ました。初参加のひとり卒業後はじめて学校の現状や将来の展望などに触れることが出来たことは、この会に参加して有意義だったと話してくれました。堀本支部長は今後も堺の茶頭、千利休が大切にしたい。二期一会の心得をこの会に生かして続けていきたい。堺の歴史を広く

平成20年度堺支部活動報告

堺支部

- 20年1月26日(土) 幹事役員会
場所 堺東、すし美
- 20年2月23日(土) 懇話会・卓話者 小林正(26回卒)
担当 見学捷太郎(28回卒) 副支部長
場所 堺、じばしん
- 20年4月25日(金) 親睦ゴルフ大会
場所 岸和田カントリークラブ
- 20年5月31日(土) 旅行会(行き先 伊勢、鳥羽方面)
担当 馬場(26回卒)、中坪(41回卒)
- 20年6月28日(土) 同窓会本部理事会
場所 本学50周年記念館
出席者 堀本支部長(24回卒)
- 20年7月12日(土) 懇話会・卓話者 西恵司(35回卒) 大阪府議会議員
担当 見学捷太郎(28回卒) 副支部長
20年9月25日(木) 同窓会(本部)全国支部長会
場所 新阪急ホテル
出席者 堀本支部長(24回卒)
20年10月8日(水) 親睦ゴルフ大会

45名の会員が出席

尼崎支部

尼崎支部は平成20年度支部総会を4月24日に尼崎商工会議所において開催しました。来賓として柏木正教授、水納敏也同窓会副会長、山本晴義元学長のご出席と会員45名の参加がありました。総会では小谷支部長の挨拶の後柏木教授、水納同窓会副会長よりご祝辞をいただき、会計報告を行いました。

懇親会は芝罎雄雄(昭和23年卒)の乾杯にて始まり、途中ビンゴゲームをして楽しい時間を過ごしました。最後に学歌を熱唱して平沼副支部長に締めめの挨拶と万歳三唱をしていただき今後の同窓

会の発展を願いながら散会しました。来年度の総会も一人でも多くの方々、また特に若い方達のご参加をお待ちしています。

支部長 小谷芳男(24回)



平成20年度総会 大阪経済大学同窓会 尼崎支部

「絆の力」は 継続的な活動を...

阪神支部

本年10月3日、阪神支部(西宮市・芦屋市・宝塚市)発足30周年を迎えます。現在の同窓数は、1750名と大世帯です。このため総会は、これまで隔年の開催です。そのせいか、全員に案内状を送



大阪経済大学同窓会

付しますが参加者が少ないのが悩みでもあります。悩んでいても解決できないことから、継続的な活動が不可欠として毎年原則、春秋のゴルフコンペを行っています。コンペの特徴の一つとして、参加者の推せんで他大学との交流として参加可能としています。本年は、山口大学卒の方を迎え、猛暑の中、高齢?の先輩もプレーに熱中されても熱中症なく終えました。表彰式と懇親会は、酒酔運転防止から会場を移し、学生時代や人生観を語り合う、夏のひと時でした。

支部長 進木伸次郎(33回)

平成20年度神戸支部総会

神戸支部

平成20年度神戸支部総会は、平成20年10月26日(日)12時より、神戸・元町駅

北側の「レス神戸」において開催いたしました。総会には、大学から中尾美喜夫副学長、同窓会から田村正晴同窓会副会長、竹中亨事務局次長並びに但馬支部長、高本勲支部長、李保哲夫支部長、また、明石支部から橋本幹夫支部長代理にご出席いただき、来賓の皆様から現在の大学を取り巻く状況や卒業生の就職状況、同窓会の活動状況などの報告と今後の同窓会の在り方、そして同窓生の活躍情報等心温まるご挨拶をいただき、出席者64名で支部総会の幕が開かれました。



平成20年度 大阪経済大学同窓会 神戸支部総会

総会では、アトラクション「ピアノの生演奏」も取り入れ、出席者全員に自己紹介と近況報告をしていただき、また、恒例の抽選会を行い予定の3時間も、あつと言う間に過ぎ、最後に道遠歌を全員で斉唱して閉会いたしました。来年も多くの卒業生が参加していただけるような同窓会にしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

支部長 下土井 康晴(25回)

歴史と文化漂う

三田・篠山・柏原

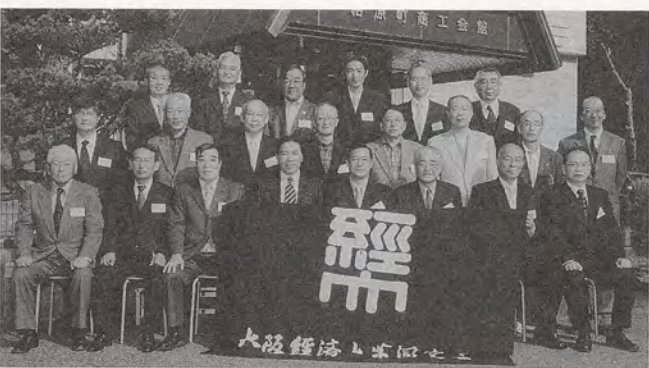
丹有支部

平成19年11月18日(日)、平成19年度丹有支部総会を当柏原(かいばら)地区の柏原商工会館にて開催しました。参加者は同窓会本部、大学、また新設の隣の但馬支部からの来賓も含め22名が参加し盛大に行うことが出来ました。丹有支部は三田、篠山、柏原の地域にあり、ロマン漂う歴史、文化の宝庫です。古くは最近話題の日本最古の白亜紀の大型恐竜「丹波竜」の骨が篠山で発見、また三田は、幕末の日本開国に貢献した福沢諭吉、白洲退蔵、またその息子の太平洋戦争の終戦と復興に、吉田茂の陰で尽くした白洲次郎の古里であり見るものに欠きません。今回の柏原地区は織田信長の表弟、信包が治めた地域で、文化面では元禄時代の4俳女の一人の「田ステテ」の生誕の地でもあります。秀吉が厄よけに信奉していた八幡神社、信包の陣屋蹟、櫓太鼓等を見学し懇親会に会場を移し、またその会場が江戸時代の呉服屋さんの旧家を改造した「イタリヤレストラン、オルモ」に場所換え従来の経大の同窓会にない、鹿鳴

佐藤支部長が 同窓会会長に就任

明石支部

9月13日午後6時から、西明石キヤッスルプラザで総勢47人が参加、20年度明石支部総会が盛大に開催されました。同窓会会長に就任した佐藤武司支部長の挨拶でスタート、続いて大学より北村経営学部長が大学の近況並びに80周年に向けての報告をされました。田村同窓会副会長、斎同窓会総務部長からも祝辞をいただき、伊藤北播磨支部長、小塩同支部幹事長、鈴木神戸支部実行委員長、渡瀬丹有支部副支部長の臨席を賜りました。



支部長 廣野義直(34回)

館時代に逆戻りしたような雰囲気の中で厳かにかつ楽しい懇親会ができました。懐かしい昔を振り返り、若かりし頃の学生時代に「お互いのつながる力」を確認しつつ、晩秋の清々しい天気の中で、一日楽しく過ごすことが出来ました。これからもなおいっそう微力ながら学校の発展のために地方でも「繋がり」を深め頑張らねばとの思いになりました。最後になりましたが今回学校藤本先生、中平同窓会長、神田常務理事、但馬支部長高本さん他ご来賓に賜り厚くお礼申し上げます。これからも、大学発展のために頑張ってください。大阪ではなく「日本の経大」に発展する事をお祈り申し上げます。



支部長 廣野義直(34回)

平成20年3月に支部誕生

北播磨支部



大阪経済大学同窓会北播磨支部設立総会

北播磨支部は、本年3月に設立したばかりでありまして、これから種々事業を展開して行く予定でございますので、本部・先輩支部のご指導をよろしくお願ひ申し上げます。当支部のエリアとする小野市並びに

懇親会では、話の輪が広がり、和やかな雰囲気包まれ、恒例のビンゴゲームで盛り上がりました。最後は学歌、道遠歌を全員で歌いお開きとなりました。2次会を昨年度に続き、会場近くのカラオケラウンジを貸り切つて持ちました。20人以上が参加して和気あいあいの中、真剣に日頃のど自慢ぶりを披露しました。

吉本明浩(41回)

新しい出席者を増やそう

姫路支部

平成19年度姫路支部総会は、平成20年2月22日(金)午後6時より姫路キヤッスルホテルで32名の参加者で開催いたしました。森口支部長より、昨年4月病気で倒れ、経過は良いが支部長を林副支部長に代わって貰いたいとの挨拶がありました。その後、来賓として学校から柏木人間科学部長、同窓会から水納同窓会副会長、森川同窓会副会長をお迎えして、皆様から現在の大学の状況、卒業生の就職状況、近隣の同窓会活動状況等の報告を兼ねた挨拶をいただきました。会計報告、記念写真の後、懇親会には、和気あいあいな自己紹介を通じて会員の親睦をはかりました。最後に来賓の方々と同支部長、40回以後の卒業された方々に舞台上上がったいただき学歌・道遠歌を歌い、お互いの健康・活躍を誓い記念品を貰って散会しました。今年も、女性、新規の参加者を増やすため、何らかの方策が必要であるとの意見が寄せられました。

支部長 伊藤俊博(32回)



全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ



新規の参加者が課題
津山支部

8月23日、藤本経営情報学部長様、同窓会佐藤会長様、廣野関連支援部長様、小野岡山支部長様のご来賓を始め、今年も多く参加を得て、総会を盛大に開催することができました。

特に会員の浅倉さんが近隣の仲間とバンドを結成し、その披露があり、また、元軽音楽部の粉川さんの独演会が懇親会の場を盛り上げて頂き、その勢いで二次会へ！

なお出席者がほぼ定着と同時に新規参加者の掘り起こしが今後の課題であり、より充実した会にしていきたいと考えています。

来年も、多くの皆様のご参加を得て盛大な総会にしましょう！

支部長 竹本巧(37回)

第66回支部総会は11月8日、市内八丁堀シャンテで開催された。歴史と伝統のある支部であり開催地の工夫(昨年は西条)や近隣支部(福山)との交流にも努力されている。今回の出席は22名であったが教員や地元根ざりして活躍された、活躍されている方々ばかりである。支部長の陰山秀明氏(44回)は若い支部長である。母校が80年を刻もうとしている今日、同窓会も40回、50回の世代にバトンタッチされていくのが自然であり、それが組織の活性化につながっていくものと思われる。

若い支部長に心からエールを送りたい。

本部副会長 田村正晴(30回)



若い世代が主役に
広島支部



ここ最近の活動報告
徳島支部

本年も計画通りの活動は出来ておらず、同窓会参加者の高齢化を食い止め若返りをどうするか悩んでおります。

①1月25日、19年度総会を、水納同窓会副会長・田村常務理事・本校藤本経営情報学部長の出席を頂き開催しました。

②4月27日恒例の春のゴルフコンペをサンビエCで行い仕事を忘れて楽しい一日を過ごしました。

③パーベキュー大会を8月23日、榎本孝支部長宅で開催し久しぶりの顔も初めの顔もお料理のおいしさと同じくらいに、楽しい話に時間を忘れて秋めいた夜を楽しみ、再会を約束しながら別れてゆきました。

事務局 山口勝敏(32回)

去る7月13日(日)午後5時30分よりルポール讃岐で平成20年度支部総会を開催した。当日は、大学教育懇談が高松で開催されたので大学から経済学部長の徳永教授他6名、同窓会本部より副会長の田村正晴氏が出席され、支部会員出席10名と大学の現況、入試、就職状況等について熱心に意見交換を行いました。

今後とも少子化の時代も続くと思われる中、大学の皆様方も新入生の確保と就職の斡旋等に「ご苦労な日々」と思われますが、各支部も微力ですが、「ご支援されること」を思いますので、「ご報告」だければ幸甚に存じます。

支部長 岡野敦(31回)



入試、就職など大学の状況を聞く
香川支部

平成20年度淡路島支部総会
淡路島支部

第18回支部総会は9月29日、3名のご来賓と竹内支部長のもと初出席含め地元会員27名が出席、「サンライズ淡路」で盛大に開催しました。

支部長挨拶ののち、ご来賓で去る6月就任された佐藤同窓会長からご祝辞と合わせ新体制の同窓会運営方針を述べられ、柏木人間科学部長は大学のプランニング戦略「つながる力」を目指す学校に協力をと要請されました。

続いて、初企画の研修会は「インターネット時代を考察する」との演題で中山昌氏(42回空)が講演、参加者にITの功罪について理解を求めました。

懇親会では乾杯のあと、ご来賓の齋総務部長が豊中支部の活動状況を紹介、多彩な支部活動に一同圧倒：。久々に一献を交わす会員もあり、麦秋のひとときを和やかな歓談のうちに学歌・逍遙歌・万歳三唱で再会を誓い合いました。次回も多くメンバーへの呼びかけと参加を期待しております。

事務局 喜田憲康(40回)



第2回ゴルフコンペを開催
和歌山支部

和歌山支部同窓会の皆様元気で活躍のことと思います。平成20年2月2日



日約60名の参加を得、来賓として大学から徳永経済学部長、本部同窓会から水納、田村両氏の出席の下、華月殿で総会が開催されました。支部のゴルフ部は年2回、60名参加のもとコンペを開き盛大に活動しています。大樟教育研究会(高校の先生中心)年に一回、和歌山地区として大学からも参加して母校へ一人でも多く生徒を送る活動をしています。総会は2年に一回開いていきますので次回には参加して下さい。また母校80周年記念事業に対して準備をしていきたいと考えていますのでご意見よろしくお願いします。

支部長 宇藤博文(28回)

毎年、恒例になりました大阪経済大学の教育懇談会、岡山会場が7月12日の第2土曜日に開催されました。同時に当日夕方より、岡山支部総会を開催致しました。大学より8名の先生方、同窓会本部より今年、会長に就任された佐藤様をお招きして、会員50名と共に盛大に行なう事が出来ました。今年は新しい方、及び数年振りに参加して頂いた方々等、非常に楽しい良い同窓会でした。佐藤会長からも、活気に満ちた素晴らしい同窓会でしたと、喜んで頂きました。毎年大学に合わせ、7月の第2土曜日に開催したいと思っております。

支部長 小野隆(35回)



教育懇談会と総会を同時開催
岡山支部

支部始まって以来の参加者

愛媛支部



梅雨も明けた7月6日(日)今治国際ホテルにて第25回愛媛支部総会を開催しました。今年には愛媛支部創立25周年と節目の年でもあり、また役員改選の年でもあつて、愛媛支部始まって以来最高人数の47名の参加となりました。まず、総会では大学の近況報告や就職サポートなどについて話し合いがされました。また懇親会では自己紹介を通じて多くの方と交流を深めました。終始思い出話に華がさき、盛り上がりました。私は、大学を卒業すると大学関係では友達という輪でしか関わりがなくなるものだと思いますが、地元の人に

年に一度、集まりました

高知支部



私は今回で2回目の参加になりましたが本当に親切にして下さる先輩方ばかりです。ぜひまた参加されたことがない方も来年は参加頂けたらと思います。よろしくお願ひ致します。 多武保 絵里奈(70回)

平成20年度 山口支部総会開催

山口支部

去る10月25日、平成20年度の同窓会山口支部の総会を開催しました。当日は、大学から徳永経済学部部長さん、また同窓会本部から神田組織部長さんに遠路山口までお越しいただき、最近の大学の近況報告と同窓会活動の報告をしていただきました。参加された多くの方は卒業して30年以上経っており、大学から、今後は大学の建物及び周辺地域が大きく様変わりすることのお話に、当時の学生生活を思い出し、少しばかりの残念な気持ちと新しい大学への期待とで複雑な思いがしていました。本年度は10月に開催しましたが、この時期は官民間問わず行事の多い時期でもあります。

総会に出席し、母校を知ろう

北九州支部

北九州支部は、2月23日、土曜日、同窓会を開催いたしました。同窓会から小谷芳男副会長、中村敏啓副会長、大学来賓として、渡辺大介経営学部長がご出席され、大学の近況及



び同窓会活動状況のご報告をいただきました。また濱忍熊本支部長、小林真人山口支部長が近隣支部としてご参加いただきました。近年は毎年定期的に北九州支部同窓会を開催しており、ご参加頂いております同窓生の皆様には感謝いたしております。 さて、今回この「激江」を購読された方で、福岡、佐賀、長崎にお住いでまだ北九州支部同窓会にご縁の無かった皆様ぜひ一度参加されてみてはいかがでしょうか。身近に大阪経済大学を知る絶好の機会でございます。

支部長 植田達三(52回)



近況報告

大分支部

ご無沙汰致しております。残暑が続いて、秋が来るのかと思っておりましたが、やっと涼しくなってきました。今日このころです。

築城400年祭の熊本城に集う

熊本支部



日本三大名城熊本城、築城400年祭のイベントで活気溢れる熊本城内K R 熊本にて、本年度支部総会が開催されました。佐藤会長、小林常務理事、梅原教授のご来臨を頂き、また近隣支部より植田支部長の出席もあり楽しい一日を過ごす事が出来ました。朝から有志

地域で活躍する 経大卒業生

宮崎支部



「宮崎をどげんかせんといかん」と登場したニクな県知事の影響で今、宮崎は

母が教えたもの

南九州支部

時代が変わるうとも変つてはならないものがある。それは「倫理とか道徳」である。母が子を殺すなど論外である。「命」の教育がという社会が学校が悪いという政治社会が他人事にしてしまう。明治生れの母は、子供は24時間子供の眼を観察し、満足な寝姿をしているか確認せよと教えた。学校から帰るのを「お帰り」と迎えよ。乳幼児のころ善悪を通せとも云った。道々散歩をしながら花や草の命の短さを、蟬は長い間幼虫で脱皮して1週間を命を落とす。だから「死にたくない」と泣くのだと。ペットを飼つて、育て方を見せろ。家族の愛情を自然のうちに教えて育てろと。南九州は自然豊かな。沖繩の隣りは台湾です。長い支部です。大経大の皆様鹿兒島から沖繩までを楽しませるか。 南薩地区長 前原五男(38回)

昭和商、大阪経専、大阪経大の一貫した教育の母校を誇りとす。
自宅 静岡県掛川市

母校で得た私の財産

前田悦子 (13)

大阪経済大学の前身「戦中・戦後」大阪女子経済専門学校(13)の生として体験と、その上、昭和30年以降、定年まで本学に奉職(図書館・広報部)し、ましてその間、同窓会役員として、澱江編集にも携った者として、申訳のない抽出と一言、おことわり申し上げます。

入学当初は大阪女子経済専門として3年間、授業は殆どなく、防空壕掘り作業、出征家庭(京都線沿線)の掃り、軍需工場への派遣でした。終戦後は、復員学徒だった昭和商の先輩がぼつぼつ、登校して来られましたが、共学とは言え、別々の教室での授業でした。

次いで、30年代になって経大に奉職、司書講習を受けて図書館勤務、広報部に配属されてからは公開講座を手伝い、主に大阪中之島の大阪府立文化情報センターに出張しての開催で、先輩との交流、市民の知識欲に触発されながら、経大の名声を宣伝する業務でした。総じて、昭和商—大阪女子経専—

大阪経済大学と連なる一本の線のもとに、私自身も育てて頂いた思いであります。
自宅 大阪府豊中市

マスコミへの登場を歓迎

田中善郎 (21)

卒業してはや半世紀が過ぎ、しかも地方に住んでおりますと母校への関心は遠のくばかり。楽しみの一つはマスメディアを通じ同窓生の活躍ぶりを知ったときです。とくに新聞や雑誌で首長選挙、社長人事、会社紹介などで出身母校名、同窓生を見つけると、思わず独りで拍手を送っています。これほど母校のPRに安んずるものはないと思います。どうか同窓生諸兄のマスコミへの登場を期待してやみません。
自宅 山口県宇部市

母校で得た「がんばろう」の精神

神照雄 (24)

経大でお世話になってから丁度50年がすぎましたが、今でも経大の名前を新聞紙上でさがしたりSEEDN DAYSや澱江をなつかしく読ませてもらっています。学園や周囲は50年の間に大きく変わったようですが、私の脳裏

す。(論集300号参照しています。)

自宅 兵庫県尼崎市

母校の生き残りとして発展を願って

中野泰則 (28)

各大学は生き残りのため必死に対策を実行していることが、メディアで報道されています。母校も実行しているのでしょうか、伝わってきません。早期に対策と実行をぜひお願いしたい。そのために①学部増設(理系を含む)による総合大学化(小規模では生き残れない)、②付属中・高の新設連携、③就職部の強化(民間企業から人材導入)、④校名の変更、⑤大学のブランド名の向上(スポーツ、公的資格取得向上、メディアへのPR等)等々を実行してほしい。
自宅 奈良県奈良市

雑感(卒業後半世紀近く…)

長島信之 (29)

上りの新幹線が新大阪駅を発つて速度を増す頃、車窓から母校の学舎が見える。その外観は往時と比べると隔世の感がある。思えば昭和38年(63)春の卒業から45年になる。このたび、あの頃を思う

機会を得たものの♪大淀の水…♪は、忘却の彼方であり、当時のことは記憶に乏しい。ただ、入学当初の体育の授業で唄う古久保師の学歌と道遙歌が今も耳元に残り、教専日本史の木村師は、古代の歴史を通して社会の仕組みと成り立ちについて静かに話された。また、事務所の岡本さんは、赤貧の小生には優しかった。何人かいた友人には甘えるばかりで何の礼もせず今日に至っている。そう言えば先年、兵庫県浜坂の友人から電話があり、校長を最後に定年を迎えた由。彼には毎年自作のみかんを送ると、また逢おう、と話すが、何十年も逢っていない。21世紀を迎えた時、旧世紀よりましな世の中を期待したが混沌はつづく終の棲になるであろう瀬戸内の島の町も例外ではなさそう。母校には自由と融和の精神に先取の気風をもつ人づくりに邁進していただきたい。
自宅 広島県尾道市

私の近況

阿部好宣 (30)

はからずも「澱江」への投稿依頼を受けました。卒業して44年の月日があつという間に経りました。私は、社会福祉法人蒼生会ひまわ

り保育園の園長として、乳幼児の子育てに頑張っています。また家庭には父母がおりますので、行く末はこれが自分の姿かなと思いが、病院の送迎、介護等をしております。時には、仲間との楽しいゴルフ、天気の良い日曜日には、畑仕事、草刈り等に汗を流している現状です。
自宅 徳島県名東郡

我慢と忍耐

秋澤茂 (31)

「地球がおかしい」「世界がおかしい」「日本がおかしい」。問題の所在と限界がハッキリしてしまった資源・環境問題。人為の世界でも、石油、食料までが投機マネーに翻弄される資本主義経済。人が職も住も定まらず、落ち着くことが許されない時代。思えば43年前、勤労学生で夜間に経大へ通った4年間、勤めをしながら、入学金から学費まで、すべて自己責任で賄った。辛かった。夜食といえ、来る日も来る日も学食10円の素うどんばかり。学力は、付かないが、やっと卒業。「我慢と忍耐」だけは人一倍ついた。これが経大生活での収穫だった。今、転変地帯、何が起ころうとも、何ごとにも耐えられる力がついた。人並みの生活を送っている。

当時、何とか、助け合いのぎあつて

きた仲間の皆さんのご健勝とご多幸を祈念いたしております。
自宅 千葉県柏市

母校への提言

桑原勇臣 (32)

以前から名刺の裏に会った人の日付と場所その人となりを書き込んでファイルしています。2000枚位になったでしょうか、そう言えば先程引退したソフトバンクの王監督がその様な事をしていてと新聞で読みました。民間の会社で定年後、大阪経済大学体育館でパートの仕事で5年間お世話になり、来年3月で去る事になりました。思いつくまま一筆申し述べたいと思います。

母校を卒業して40数年経ちました。光陰矢の如しです。建物も立派になつてユニバーシティになり学生数(特に女子学生)も増え全てが様変わり致しました。しかし問題は中身です。大学の本来の姿は基本的に少しも変わっていないことです。創立者黒正巖先生の「道理貫天地」です。継続は力なりと言います。くり返し、くり返しの努力、努力ある限り人間の成長に終わりはありません。人はこの世に生まれ、1人では生きられない存在です。目に見えない力によつて人は生かされています。そして

母校で得た私の財産

野田潔 (32)

岐阜県の片田舎の高校を卒業し、大阪経済大学に入学したのが昭和37年、卒業したのが昭和41年です。大学に入学し、先ずショックを受けたことは全国から集まる同級生に比べ、自分が全てにおいて遅れをとっているような感覚に襲われたことです。このことは私に大きな刺激を与え、それからの人生を一変させることになりました。

私は、高校までスポーツ(軟式テニス)今のソフトテニス)にのめり込んだ生活をおくっていました。が、大学に入ってから初めて勉強への好奇心が芽生えたわけ。友達との言葉・会話の内容や知識世間一般常識等々、自分の薄学さに気づき、自己嫌悪に陥つたものです。大学では、当時安保闘争の余韻で学

内集会が開かれていました。私にとつては、安保闘争など全く関係のない別世界のことで、日米との安全保障条約とはどのようなものだったのか、頭の片隅にひっかけの知識もありませんでした。大学のキャンパスに入ると、ハンドマイクを片手に、手作りチラシを校門前で配っているのが日常の風景でした。

こんな訳で、自分の薄学さに気づき、これを補うために色々なサークルが開催する学内集会への参加、社外講演などに積極的に参加するように心がけ、少しでも社会がどのように変化しているのか知ろうと努めました。大学の授業を欠席してでも、聞きたい講演があればそちらを優先して聞きにいったものです。このような行動の他、興味を引く本も随分あさって読みましたし、新聞も隅から隅まで目を通すようにして自分の考えをもつことができるようになりました。

また、高校とは違い、大学の中間期末試験は、一般教養科目以外は殆ど論文だったことが、私に大きな刺激を与えました。題材も、試験当日その時間に教授が教室に入ってきて、黒板に思いつきで題材を書き、それに対して論文形式で文章を書いて提出する方式でした。題材は、誰でも書けるようなが多かったように思います。しかし、勉強している者としていない者とは、書く内容が違ってくるような内容でした。

40年以上前の記憶ですから多くの

スの充実へつながれば幸いです。

自宅 徳島県名西郡

商都で異彩を放つカレッジに

田坂光宏 (40)

卒業して早や30数年、大阪証券取引所で毎年決算発表していますが、新築の大証ビル内に、大阪経済大学のキャンパス(教室)の案内を見ました。懐かしいと同時に頑張っているなと感心しました。メジャー(ユニバーシティ)にはならなくて良いです。商人の町大阪でさらに異彩を放つカレッジであつてほしいと念願しています。

有能な学生がいましたらご紹介してください。

自宅 広島県尾道市

母校で得た私の財産

長曾利彦 (43)

どうしても奪うことのない出来た財産を持っている。それは学生時代の学友だ。4年間、一緒に蠢いたサークル活動(吟志部)の仲間。その頃が私の原点のようだ。人間は相互作用のなかで生き、つまり他を介して自己を知る。その上で生きがいのある、信頼されている生き方を自分でつくる。学校の周辺も様変わりして学友も2人、3人と別の世界へ行き、さみしさもあるが、昔

ことは思い出せませんが、その題材の一つを紹介しようと、哲学の期末試験の題材「人間の生き方についてあなたの意見を述べよ」という問題でした。答案用紙は、行破線(点線)の入った白紙の用紙一枚だけです。時間内にこの一枚の白紙に自分の考えを記入しなければなりません。

他の専門教科も同じようなやり方だったので、随分とまどいました。しかし、何回も論文を書いていると、その要領も習得し、文章力も身についたような気が致します。こんなところから、母校で得た私の財産は、

① 自分の薄学さに気づかされ、勉強するキツカケを作ってくれたこと。

② 自分の考えを論文にまとめることができるようになったこと。

③ かけがえのない友人が持てたこと。

自宅 宮城県宮城郡

卒業して42年

近田正義 (33)

4年前に、地場産業の一企業の代表者に成ると同時に、伝統的工芸品に指定する業務も兼ねている経済産業省指定の理事に成り、日本伝統的工芸品の高度な技術を継承していく難しさを痛感しました。大学時代は、簿記会計研究部、浜本ゼミナールに所

属し、今から言えば、組織、集団での活動が、現状での社会で役立つと思えます。今後、大学に要望する事は実業家、文化人等々活躍なさる方を講師として招き入れ、地元大阪がもっと活性化するように学生達に希望をもたらず授業をお願いします。

自宅 兵庫県小野市

まずは声かけて集まる

玉木誠 (34)

身近な友人に大経大の卒業生数を問われると、6回より74回卒業まで支部には596名いると答える。「すごいところで会合には何人集まる?」約30名位かな、苦しい返事である。普段より一部会員の付き合いは頻繁に行われているが、同じ顔触れである。様々な戦略と手段で新顔の勧誘と総会参加率10%60名を目指している。無理だと諦めることなく、失敗を恐れず、まずはいろいろ実行することをモットーに苦戦している。

自宅 福井県福井市

母校で得た私の財産

杉山誠一 (39)

大学を卒業後、岡山県庁に入り早いもので35年が過ぎてしまいました。昨年

の「激江」では「ズームアップ経大人」で紹介いただき、大変光栄に存しております。去年ご紹介いただきました勤務先はこの春に異動となり、今年も農林水産関係で仕事をしておりますが、最近話題の多い、食の安全安心対策や食料自給率向上等に取り組んでいます。

学生生活は日本拳法部に4年間在籍、毎日の厳しい練習に明け暮れ、それにより忍耐力が身に付き、精神力も養ったようです。そして「二期一会」の気持ちで何事も日々努力することの重要性を教わったことが、母校で得た財産だと思えます。

自宅 岡山県津山市

母校への提言「学生のための仕事・子育て応援プラン」

清重弘子 (40)

近年少子化の影響か自分が親になるまでに赤ちゃんとかかわった経験のない若者がふえています。そこで学生時代から保育園等でのボランティア活動を通して「子どもがいるぐらし」を体験してはかがでしようか。子どもとの世話を通して「いのち」の大切さや、他者への思いやりが気付くと思えます。そんな体験をすることが社会人としての成長や成熟へのきっかけとなりひいては「仕事と子育ての両立」を可能にする第1歩となりワークライフバランス

の思いは生きていく限り同居する。「お金より大切なものをみつけると幸せになる...」と言うが、経済を考える最終の目的なのかもしれない。

自宅 京都府京都市

母校で得た私の財産

山口豊 (55)

現在、私は河内長野市消防本部に勤務しており、現場活動の裏方と言える消防総務課の主幹として、消防予算や消防人事運営等の業務に追われている毎日です。そこで思い出されることは、消防署配属当初に言われた、「経済大学を出て、何で畑の消防に入ったんや」という先輩たちの言葉であります。その時は、返事に窮しましたが、今現在、消防財政等に関わる部署で母校で得た経済学の感覚を活かしている事は、私の大きな財産であります。

自宅 大阪府河内長野市

戻りたい場所

瀧川健次 (59)

私にとって経大は戻りたい場所である。卒業して15年一所懸命に働いてきましたが、仕事に追われて時間のない生活を送っている私にとって、時間がた

くさんあり、何より学ぶべき場所が与えられていたあの環境へ、そしてあの時代に戻りたい、というのが正直なところです。だから経大はいつでも戻れる場所であつてほしい。そして常に何かを学べる場所であつて欲しい。あの頃のよう。

自宅 大阪府茨木市

私の原点：我が母校

川上登 (63)

大学を卒業し、あつという間に10数年が経ちました。多くの先生方や学校職員の方々に支えられ、また多くの友人、部の先輩後輩と関わりながら過ごした学生生活が大変懐かし思い出します。卒業後は、就職に就かしていたが、多くの生徒と関わりながら充実した毎日を送っております。嬉しいことに、教え子が母校へと毎年進学しております。生徒との関わりの中では、大学在学中に得た数多くの経験が活かされていることは言うまでもありません。就職に就いて数年が経った頃、行き詰まり、苦悩した時期がありました。しかし、大学へ出掛け、先生方や職員の方々、そして友人と話をすることで、様々な思いや悩みから解放されました。私にとってこの大阪経済大学は、あの頃の純粋な気持ち思い出させてくれ、原点に返ることが出来る大

切な場所。そして、今でも親身になって思いを受け止め、支えてくださる多くの方々がいらっしゃることに大変感謝しております。

自宅 鳥取県倉吉市

母校で得た私の財産

石田真紀子 (69)

それは、生涯付き合っていく何人かの友人が持てた事と数々の経験です! 私は、兵庫県下の高校を卒業し、縁があつて母校に入学し、男子学生の多さにビックリした事、思い描いていたキャンパスライフへのギャップも感じたりしましたが、2回生でアメリカ、3回生で中国へ語学研修に行った事、インターンシップで2日目寝坊をし人事課長に叱責された事、4回生では超就職氷河期にぶつかり就職活動に苦労した事...いろいろな事がありました。今は、すっかり企業人の1人として励んでおり責任がのしかかってくるキャリアにもなりました。無駄な経験は、一つもなかったし自信にもつながっています!

自宅 兵庫県三木市

14回生「傘寿記念」輪島・和倉温泉へ旅行

第14期生会

今年の旅行は、5月12日から2泊3日、能登を旅しました(参加15人)。



柴田悦子(14回)

青春回想の一日を楽しむ

16・18期生同期会



毎年5月第2月曜日(今年は5月12日)に開催する定例同期会を今年



=平成19年にお集まりの経大26会出席の皆さん=

「二期一会で楽しみを見つけてよう!」

第29期同期生会

我が29期生は昭和38年卒業で三



同期生会とはいえ初めて顔を合わす方もおられます。

大学の歴史と展望を聞く

23期生の集い



今回で24回目となる23期生の集い。

世代の壁に挑戦する

第4回30期生の集い

さる7月27日(日)、第4回30期生の集いが、本学同窓生ホールで開催

第7回経大26会の一泊旅行のお知らせ

26期生会

行先 シーパル須磨(国民宿舎)神戸市須磨区須磨浦通1-1-1



森本義夫(30回)

大阪経済大学空手道部OB会活動状況

空手道部OB会

60周年を3年後に迎え、OB 500名が各業界で活躍しており、6月に10期生の佐藤武司OB会長が

全学同窓会会長に就任しました。現役時代には同期の鈴木隆夫主将が率いる団体戦で、関西学生空手道大会第3位、全日本学生空手道大会では準優勝の実績を残し、全国に大阪経済大学の名声を轟かせました。

11期生 南部義尚先輩と19期生の蒲原勉先輩は卒業と同時に、フランスに渡り、空手の指導者となり、欧州各地の道場生は数万人を数える。

現在、部員は14名と少数ながら、春の関西個人戦で1回生の森山亜紀代が形競技で準優勝を果たし、10月13日の全関西学生空手道選手権大会(大商大体育館)に向け、一部で上位入賞を目指しております。このようにOB会と現役が一丸となり、全力で昼と夜間練習を実施し、頑張りますので、ご支援お願いいたします。

與世田正雄(34回)



平成20年度柔道部 OB・OG総会開催
柔道部OB会



平成20年3月23日、江坂 赤坂飯店にて、平成20年度総会を開催。当日は吉田、逸見両相談、昭和41年卒、木内康博先輩(32回卒)の初参加を始め、平成卒業の若いOB、OGの多数の参加があり、総名90名の参加を得ました。石橋事務局長の開会宣言と司会が始まり、下垣会長の挨拶と入江前部長先生、萩原先輩を始め物故者の冥福を祈り黙祷の後、議事に入る。19年度の事業報告、会計報告、会計監査報告を行い、いずれも出席者全員異議なく承認される。引き続き20年度の事業計画案、会計予算案の説明があり、原案通り承認可決。以上で総会は終了し、続いてOB、OG親睦会及び現役

卒業生と新入生の歓送迎会を行う。来賓に大橋部長先生、西岡弘師範及び同窓会本部より竹中事務局長をお招きして始まる。会長挨拶の後、大橋部長先生、西岡師範、竹中事務局長からもご挨拶を賜り、木内先輩の乾杯のご発声で和やかな交流の輪が広がりの過ぎるのも忘れられるほどであった。宴の半ばで安田監督より、卒業生及び新入生の紹介があり、今年も全国大会にかならず出場するという心強い宣言があり、一同大拍手となる。最終に上地先輩(32回卒)の万歳三唱があり、学歌、道遥歌、柔道部遠征歌を合唱して、内田副会長の挨拶で幕を閉じる。

会長 下垣恒彦(34回)

第17回関西学生柔道OB・OG新睦ゴルフ大会開催
母校柔道部OB会が優勝



平成20年8月25日、池田カンツリー倶楽部にて、11大学84名のOBが集まり、関西学生柔道の発展とOB各位の新睦を深めるゴルフ大会が開催された。今回は母校柔道部OB会が主管校として開催。

当日は絶好のゴルフ日和に恵まれ、各大学OBは日頃の腕前を充分に発揮され、目的である各大学、各メンバーの交流と親睦を深め無事全員が終了する事が出来ました。

懇親会、表彰式では主管校のOB会長の開会挨拶と参加お礼、同OB

第24回 寄多郎会 古都奈良に集う

寄多郎会(柔道部OB会)

風薫るさわやかな今年の5月14日、15日の両日、奈良公園、奈良町の風情をゆつたりと満喫した2日間でした。前後の暴風雨もどこへやら当日は早朝より快晴で散歩にも支障なく元気な笑顔が宿に集まった。宿は奈良公園の浅茅ヶ原の閑静な木立の中の一軒屋「青葉茶屋」の借り切りで、過ぎし日の懐しい部活動や社会人現役時代の人生経験等話題はつきず語り会った一夜でした。



翌日は飛鳥寺が移築されたといわれる奈良町の元興寺にお詣りしたのち「とうふ庵・こんどろ」の由緒ある古庭を眺めながらの豆腐のコース料理は格別でした。昼食後は奈良町界隈、興

福寺境内を散策し、来年も元気で再会出来ることを約して散会としました。

逸見学・中田昌邦(26回)

平成20年度 硬式庭球部OB総会で 和田好弘氏(38年卒)を 会長に選出

硬式庭球部OB会



さる5月25日(日)午前11時から本学江口グラウンド硬式庭球部部室において、平成20年度OB総会を開き、任期満了に伴う役員の変更を行い、新会長に和田好弘氏(38年卒)を、会計幹事に小林二郎氏(40年卒)、幹事長

に白井恭一郎氏(38年卒)を選出、副会長の秋山治信氏(46年卒)、山本恵一(58年卒)、監督の田淵公孝氏(54年卒)の留任と、新たに芦田幸浩氏(平成11年卒)のコーチ就任を決めた。

新任の和田会長から「4部昇格を今年こそ実現させるため、OB諸氏が力を合わせて現役の支援活動ができるよう注力したい。OB諸氏のご協力をお願いしたい」と熱いこもった挨拶の後、新入部員を中心に力強い自己紹介があつて総会を終えた。

総会終了後は、昨夜来の雨も上がり、現役諸君のコート整備の甲斐あつて、OB諸氏も久々のラケットの感触を楽しんだ。

森川義一(25回)

平成20年度 OB会総会開催

硬式野球部OB会

平成20年3月29日、新阪急ホテル星・月の間において、平成20年度のOB総会を開催。

森田幹事長の開会宣言と司会で議事に入る。大場会長の挨拶に続き、細川事務局長より平成19年度事業報告、内海会計より会計報告、岡崎監査の監査報告、いずれも出席者全員異議なく承認された。引き続き、平成20年度事業計画・会計計画の説明があり、原案通り承認された。引き続き、河野幹事の司会で懇親会に移る。

まず、物故者のご冥福を祈り黙祷の後、懇親会に入る。林部長、望月副部長、新旧主将、主務を招いて、平成

19年度リーグ春秋連覇、全日本大学野球選手権大会、明治神宮野球大会に出場の快挙を祝し、OB各位より激励の言葉を頂く。

今後OB会会員のご協力のもと、現部に対する支援体制の強化とOB会員間の交流、親睦を深めることを、誓い、内田副会長の大阪締めで幕を閉じた。

会長 大場謙二(24回)



大阪経済大学体育会
ゴルフ部OB会50周年
総会を終えて

ゴルフ部OB会

とき平成20年5月18日 11:00より
ところ大阪経済大学内 創立50周年記念館7F同窓会ホール
創立50周年記念館7F同窓会ホールにおいて、ゴルフ部OB会創部50周年記念総会が開催された。長らく廃絶状態にあったOB会を平成17年5月に新規再発足。3年を経過した今年、来賓として大学側から重森暁学長をはじめ、中平秀寛前同窓会々々長、鮫島圭体育会連絡協議会会長を迎えて盛大に行われた。

開会に先立ち物故者への黙祷を奉げたのち、先ず、牧野明次今OB会長が開会の挨拶。写真。経大ゴルフ部の歴史、当時の世情、在任時の状況や、連盟競技においていかにして母校を有利な立場に押し上げるかなど、学連副委員長として活躍された当時の苦労話など、ユニモアを交えながら思い出話を述べられた。

ついで総会議事に入り、先ずは19年度活動報告・会計決算報告、会計監査報告があり、審議。続いて20年度活動計画(案)・会計予算(案)、次期役員名簿改訂(案)など予定審議事項の全てが滞りなく承認され、およそ30分後に終了。

今総会の主旨は、今後の同会のさらなる充実を目指し、理事会役員増員と若返りを実行。今後の活動計画として、懇親会や忘年会、年2回程度

のゴルフコンペの開催。また後輩ゴルフ部の強化に向け、合宿などへの積極的な参加の要請や、サポート体制を充実させることなどを盛り込んだ内容となった。



引き続き、会場をB館2Fに移し懇親会が開かれた。来賓お三方より、今総会の成功と当会のさらなる発展や後輩ゴルフ部のサポート体制への期待など祝辞をいただいたのち、国本泰男氏の発声で乾杯。食事と歓談の中、届いた祝電を披露。久しぶりに顔を合わせた者同士の名刺交換や思い出話を花が咲き、途中飛び入り挨拶もあつたりして、賑やかなうちに会は進み、あつと言う間に時間が経過。会も終わりに近づいた頃、現監督の泉原五十二氏が挨拶。(泉原氏は過去の経大ゴルフ部の歴史においてた一度一部入りを果たした時の立役者の一人で、ゴールドメダル団体優勝、並びに個人優勝などの輝かしい経歴を持つ。)経大ゴルフ部の現状や、大学の協力で本年度初めてスポーツ推薦で入部者を得たことへの喜び、今後の指導方針や現役に対する

創立50周年の
集いを開催

ワンダーフォーゲル部OB会

WV部創立50周年を祝う記念集会在平成20年6月8日(日)、本学同窓会ホールで各方面より77名のOBが集まり、総会ならびに懇親会を開催しました。

OB総会では下村隆彦(41年卒)の司会進行により逝去仲間6名への黙祷に始まり牧田征雄(40年卒)本会実行委員長の開会の辞、神田博(39年卒)OB会会長の挨拶に続き、議事に入りました。OB会活動経過報告、会計報告、規約改正の説明、新役員選出、今後のOB会活動についての意見交換が行われた。

- 顧問
国西良昌(38年卒) 塩本洋資(38年卒)
神田博(39年卒)
会長
牧田征雄(40年卒)

春秋会のこれから

春秋会とは、10数年前中国の春秋時代に名を借り、春と秋に上場企業の役員を中心に懇談の場をもつことを主旨に、東京在住者と大学々々長、同窓会長それに理事長も参加されたのが始まりでした。

今では時代の変革と共に東京だけではなく大阪でも声があり、新阪急ホテルでも会合をもつようになり、中身も上場企業のほか自治体優良企業を含めてやっております。

時代の変革と共に現役学生の就職を中心に質の良い企業につかせることこそ必要と考えております。

4年ぶりに福山に集う

法学(律)研究部OB会

地球温暖化問題の深刻化・格差社会の拡大と「食」の安全に対する不安が増大する昨今、4年ぶりに2月2日、広島・福山市の「備後ハイツ」にて開催され、関西を中心に11名のOBが参集しました。今回は故郷にて、地域活性化のため「さるかに共和国」の官房長官として「自立・共生・平和」の《ペンゴ》づくりを献身的な活動をさ

- 副会長
下村隆彦(41年卒) 桑原勇臣(41年卒)
出口彬臣(42年卒) 西山雅文(56年卒)
会計
高橋浩行(59年卒)
各年代代表
塩本洋資(37、38年度) 神田博(39年度)
富士本章(40年度) 野間克博(41年度)
有吉久昭(42年度) 今津省司(43年度)
松岡新一郎(44年度) 太田史郎(45年度)
土山晴貴(46年度) 友岡均(47年度)
長岡秀行(48年度) 大西充恒(49年度)
野村幸司(50年度) 綾部鉄一(51年度)
杉本 巖(52年度) 早野雅之(53年度)
曾我 誠(54年度) 古市拓郎(55年度)
西山雅文(56年度) 澤井拓男(58年度)
高橋浩行(59年度)



総会終了後は親睦会に移りました。出口彬臣(42年卒)の司会で来賓の経済学部教授 本多三郎WV部長ならびに中



れている笹山氏の激励と「国づくりの見学」を兼ねました。

OB会創立40周年を迎える来年は6月下旬頃に記念会を、兵庫・有馬温泉にて開催する予定です。OB諸氏はぜひともお出かけ下さい。今回も母校同窓会事務局様には、ご支援いただきありがとうございます。

事務局 奥 正信(36回)

平成20年度
池田銀行経友会総会

池田銀行経友会

平成20年度経友会総会を7月9日(水)に伊丹シティホテルにおいて開催いたしました。当日は夜半からの雨にもかかわらず、OB10名を含め総勢51名の参加となりました。

日本ハンドボール協会
から表彰されました

関西学生ハンドボール連盟
会長 前田吉弘(24回)さん

本年6月、日本ハンドボール協会より表彰されました。私にとつても大阪経済大学ハンドボール部にとつても大変喜ばしいことです。私は昭和23年よりハンドボールをはじめました。関西学生ハンドボール連盟の審判長・理事長・副会長・会長を現在も務めています。関西学連はいつも関東学連に負けないように、海外遠征等チームの強化に努力しています。関西のチームが全日本インカ



レで男子が9回、女子が1回優勝しています。毎年団体開催府県の協会理事長が関西学連の運営について視察に来るほど関西学連は充実した連盟です。

関西学生ハンドボール連盟は60年余の歴史を持ち、現在70の大学が加盟しています。男子六部制、女子は三部制、大阪経済大学は春秋のリーグ戦において7シーズン優勝しています。

平秀寛同窓会会長のご両名から祝辞をいただきました。続きましてWV部の第1回卒業生で現在山口県光市在住の山本幸伸先輩の乾杯の発声により和やかな懇親会にはいりました。山岳部OB会、居酒屋ペンより過分なる酒肴等をいただき誠にありがとうございました。

祝宴がすすむ中、指名により各年代がそれぞれ在学当時のWV活動の思い出話、エピソード等を語りあい、また歴代発行の部誌「ケルン」OB会誌「NENRIN」が会場に展示され、それらに見入る者もあり、現役当時の思い出が昨日のように蘇るようでありました。4年間の活動で同じ釜の飯を食い同じテントで寝食をとをした仲間の貴重な体験が半世紀を過ぎた現在もこのように

多くの仲間が集まり語りあえる事は各人の一つの財産であると思われまふ。

続きまして4名の現役諸君が紹介された活動報告等を行い、今後も活発なる活動を展開すべく決意を語ってくれました。宴も終りに近づき最後は全員で「ケルン」を組み、道遥歌、学歌を合昌し再会を誓いお開きとしました。なお創部50周年を記念しWV部のロゴと50を組み合わせたそれを左胸にプリントしたTシャツを記念品として配布しました。

50周年の記念式典を催すにあたり大学、同窓会の皆様方には多大なるご協力をたまわり実行委員一同心よりお礼申し上げます。

実行委員長 牧田征雄(31回)

午後7時より田中会長の開会の挨拶で始まり、経友会OBでかつ同窓会本部事務局長の中村氏から大学の近況報告、さらにOBの潮田氏による乾杯と続き、しばし歓談となり、恒例のビンゴ大会で盛り上がり、今年度の新入行員6名の紹介となりました。

最後はいつものグリークラブOBの黒川氏、里谷氏を中心に学歌、道遥歌を全員で歌い、里谷氏のエールとなり、最後は室井副会長の一本締めで閉会となりました。

幹事 餅原、平尾

第4回「白水会」渡辺泉教授を囲む会に参加して

白水会

平成20年1月26日(土)午後2時より経大にて第4回白水会総会及び懇親会が開催されました。参加者は渡辺泉教授を含め45名。溝内さんによる開会の辞で始まり、市原会長(40回卒)、渡辺教授の挨拶(もっぱら本の宣伝だったような気がします)が、大学の近況報告と進み、無事総会を終えた後、懇親会が行われました。

私は今回初参加だったのですが、とても気さくな先輩ばかりで、楽しいひと時を過ごすことができました。また、懇親会での近況報告会では先

輩方が税理士等の道をしつかり切り開いていらつしやることにとても刺激を受け、私を含め同期一同精一杯精進して、後輩に少しでも刺激を与えられるような経験を重ねていければと思います。最後に記念撮影をして、2年後の再会を約して散会しました。

梶村美恵(70回)



「友アリテ愉し」

劇研OB会

劇研の仲間は皆底抜けに明るい。今年も11月7日梅田高層ビルの最上階特別室でOB会を開いた。14期から18期の男女12名。



梶本・杉山・駒・刀根・本田・松本・伊藤・陰下・木下・田中・箕形・中村。みんな頗る元気で老いなど微塵も感じぬ。美女達とスマートな男性群とのコラボレーション。いい舞台となった。そして、光輝・高齢者の巧みな日常生活を各自の近況と共に報告したり、演劇クイズの賞品獲得合戦ではあつという間に競争の場面に変わり、眺望良き会場のそれは賑やかなこと。こんなに素晴らしい時間を共有し思い出がまたひとつ増えたような一日でした。人生疾し、早目愉しまなを合言葉に再会を約し、秋色の御堂筋近くに出て散会した。

幹事 中村行男(16回)

傘寿を祝う同窓会

第14期生会

14回生は今年傘寿を迎えます。11月11日、太閤閣・淀川邸で「傘寿を祝う同窓会」を開きました。参加者25人。歴史を感じさせる格式の高い建物と手入れが行き届いた庭園に囲まれ、楽しい会話が続きました。何時も最後は戦争直後の寒い教室で勉強したこと、講義はさっぱり分らなかったが楽しかった思い出話になるのです。お祝いに紅白のお饅頭をいただき、若返った一日でした。

柴田悦子(14回)



恩師・松本 剛先生の墓参り

私は29歳で夜間大学を卒業しましたが、今思えば、20代は仕事上の上司、勉強の恩師に恵まれたように思います。

職業会計人を目指した関係上、学生時代は会計学研究室に所属し、もっぱら、クラブ中心に行動していました。青春時代の若き顧問の松本先生との思い出は強烈で、今も時々、損得を離れ当時の仲間と語り合うことがあります。

松本先生がお亡くなりになり、早や15年になりますが、6月7・8日鳥取県の境港、美保関神社・関の五本松の近くの寒村、美保関町へクラブ卒業生有志10名程で乗用車2台に便乗して、島根県の玉造温泉で一泊し先生のお墓参りに行きました。

平均年齢60歳を過ぎた青年が、途中、インターで一服、昼食をとり、旅館「玉井本館」(地下21メートルで温泉噴水)には、われわれ以外は1組のみ。旅館は借切り状態で、おかみさんの話ではこの頃、狸がえさを求め、温泉に入るのだろうか、よく出没するから、かまれないように注意をして欲しいとのこと、ひと夜や、松本先生との思い出で話をしました。

先生がお亡くなりになる数日前、朝日新聞の「天声人語」に松本 剛著「略奪した文化戦争と図書」が紹介されたこととか、クラブの仲間と遊びに来た時の思い出の中に、境港は紅ズワイガニの水揚げが日本一、高価な松葉ガニを松本先生の奢りで、何杯も大盛りした皿の一番上に紅ズワイが盛ってあり、色豊かで大変うまそうだったので一番に食べたところ、満腹

となり、後で聞くところによると、実は松葉ガニが一番おいしいそうでした、等の話に花を咲かせ、夜はやすき節の実演を見学しました。

帰途、海水と淡水が入り混じる影響が、日本一の漁獲高の「ヤマトシジミ」の取れる全国第6位の「安道湖」を経由して、島根県特産「わいん」の製造工場見学を兼ねた、なかなか商売上手な「試飲即売館」に立ち寄り、余分な買い物をしましたが、景品売り場で特等賞・ブドウ一箱を頂き、えらい得をした気分になり、最後に丹波の白ウサギの物語を思い出しながら、出雲大社へ参拝して帰途につきました。

解説によると「大国主大神をお祭りする出雲大社は「和議」の後神徳で国づくりをなされた国土を御皇室の御祖先に奉還一國譲りなされて奇しき御神業を成し顕され「しあわせの平和」を導かれて、目に見えない神事の世界を治められる幽冥(神事)主宰大神として、出雲大社にお鎮りになり、生死ひとつながらに私どもをお守りいただいています」とあり、わが国、神道の神髓・シンボルを表しているだろう大ボールに日の丸がたなびいており、すがすがしい気分を味わいました。

緑の不思議さ、夢を忘れず、過去を懐かしみながらも、事業が永遠に継続するためには何が一番大切な事柄かを模索しながら、厳しい現状を精一杯生きたいものです。

植村祐三(32回)

経大ラグビーの偉大なる大先輩 柴田秀一さん天国へ

平成20年9月3日84年の人生を全うし天国にたたれました。

昭和16年卒業の柴田さんは、経大の評議員として成長発展にまた経大ラグビーの基礎を作られました。柴田さんのラグビーにかける母校愛と情熱、そして学生にたいする思いやり、厳しさ、指導力は今日の経大ラグビーの素晴らしい伝統となっています。

昭和33年度全国大学地区対抗大会出場、柴田OB会長が物心とともども、資金集めに奔走いただき、準優勝で関西の各大学から経大ラグビーが認められるまで発展しました。

昭和40年関西大学ラグビーAリーグ昇格以後、平成14年まで37年間Aリーグを守り続けました。柴田会長の強い信念と情熱が作り上げたものと、信じています。

また関西ラグビー協会の役員も勤められ、多くの人々から尊敬され、信頼され、後輩の役員を関西ラグビー協会の理事長まで育てられました。大先輩柴田秀一様ありがとうございました。安らかに眠ってください。

経大ラグビー部OB会会長 柴田忠生(25回)



在りし日の柴田秀一さん

高城 寛先生の訃報と 偲ぶ会のご案内

高翔会(高城ゼミOB会)

大阪経済大学名誉教授 高城 寛先生が、今年の4月22日に亡くなりました。突然の訃報の連絡にただ愕然とするのみでした。

先生が2002年に名誉教授に就任された時に、ゼミ卒業生として初めて同門会「高翔会」を開催したのが懐かしく思い出されます。その際に記憶に違いなければ2009年に高翔会で先生の「喜寿」のお祝いしようとして提案し散会したように思います。

そこで「高城 寛先生を偲ぶ会」を2009年4月11日(土) 13時より大阪(京橋)のパラマビレストランアサ



故高城寛先生

ヒで、開催を企画しております。詳細は追ってご案内状にてご連絡を差し上げる予定です。

先生の「冥福を祈りつつ 合掌

- 40回卒 尾崎秀一
- 43回卒 今村武司
- 51回卒 大谷忠久

第8回大樟教育研究会
和歌山県の集い



本年度で8回目を迎える「大樟教育研究会の和歌山県の集い」が6月14日(土)第2富士ホテルで開催されました。和歌山県支部の宇藤博文支部長、新田和弘事務局長も母校のために毎回参加していただいています。和歌山県内等で高等学校教員として活躍されている同窓教員10数名が母校の発展のため、具体的には70周年記念行事のひとつとしてはじまった「17歳からのメッセージ」に協力しようということで本年も集まっていたきました。大学からも斉藤入試課長、梅原広報課長の出席をいただき、大学の現状や入試状況、80周年に向けての大学の動き等を説明していただき、少子化の時代になり、大学と高等学校の連携にはどうすることが必要であるか、大学の教員採用指導に向けて大学の取組に同窓教員がどう関わっていくかがいいのか等を話し合うことができ、有意義な会であったように思います。

母校を思う気持ちはみんなひとつです。今後も4年後の大阪経済大学創立80周年を見据え、この会のますますの発展を祈っています。今後は幅を広げて、小学校や中学校の同窓教員にも呼びかけて同窓教員の情報交換の場、さらに大きな母校との議論のできる会にしていき、母校の発展のために協力していきたいと考えていますので、ぜひ和歌山県の同窓教員のみなさん1回の「集い」にご参加よろしく願います。

木村 清志(48回)

旭日双光章を拝受

重松 尚(23回)



このたび、平成20年度秋の叙勲に際しまして、図らずも旭日双光章を頂き、わが身に過ぎたる荣誉に感激しております。

私は大学卒業後、2年間医薬品メーカーに就職の後、故郷富山市で家の医薬品卸の道に入り、地元富山県及び近隣の医療機関の薬品販売並びに薬業立県として、有名な富山の家庭配置売薬の原料卸を営んで参りました。
「ここ20年ほどは富山県医薬品卸協同組合の理事長として、地域のためまた業界のために盡力した結果の賜物として、この栄に浴したものだと思っております。今後も業界発展に微力ながらお役に立ちたいと願っております。」

32回卒生(昭和41年卒)集まる

32回卒の皆さんお元気ですか。平成20年度同窓会総会で、32回卒の仲間が集まり歓談が進み盛り上がり、同期会を開こうと話がまとまりました。

来年(平成21年)の良き日に、若き青春時代を懐かしく語る同期会を開催します。詳細が決まり次第ご案内を申しあげます。ぜひともご参加をお願い致します。

連絡先 竹中亨(同窓会事務局)

- (発起人) 折口秀規 瞳(松岡)夫妻 植村祐三 真鍋一美 桑原勇臣 波根伸俊 福田俊彦 小林真人 内海豊 五十楼保彦 木庭洋介 山乃内幹彦 木村雅彦 高上安史 森康弘 竹中亨 以上16名



大経大
陸上競技部の皆さんへ



中央、かがみ腰で学生帽をかぶっているのが、陸上競技部OB会長 堀本修さん 後列右端のコート姿が塩田利一さん

早速ですが、2007年43号「激江」に掲載されてしまった陸上競技部の記事を懐かしく拝見しました。
1954年7月12日、久我山朝日生命競技場での第2回の大経大・東経大定期対抗戦と同年11月14日、福岡平和台競技場で開催された第7回西日本商経大対抗戦の写真が手許にありましたので同封させて頂きました。トロフィーを手にしているのが小生で専門は三段跳でした。
年賀状の交換が50数年継続していた同期生のご子息から、今年はや中の葉書を戴きました。また、卒業後ですが東経大で同じ三段跳をしていた良きライバルの一人がバンコックに勤務中、小生が業務出張した際、現地で再会して色々ご案内して頂いた楽しい思い出もありました。
スポーツを通じての特に青春時代に培われた友情は、何時までも忘れられない素晴らしい思い出として残ります。当時の数少ない古い写真がアルバムに残っていましたので、デジタルで撮り直し不鮮明ですが参考になればと思います。同封させて頂きました。部史か記録帳か何かに残して戴ければ幸いです。

塩田利一(22回)

2008年
パソコン教室
今年で8回目

今年で8回目を迎える同窓会・後援会主催の「2008年度パソコン教室」が9月13-14、23日の3日間にわたり開かれました。コースは初心者(初級)ワード(中級)、EXCEL(中級)、デジカメ・はがきの4コース。

参加者は抽選で選ばれた約500名の方が、老若男女を問わず熱心に勉強されました。実行委員長の埜尻奈緒子さんは「パソコン初めての人が多い中、勉強しようという姿勢がとても大切です。最後までがんばってください」。同窓会を代表して田村正晴副会長は「大阪経済大学をこのような形で知っていただくのは大変嬉しく思います」とそれぞれあいさつ。みなさん、朝の10時から夕方5時までびっしりパソコンに取り組みました。



同窓会田村正晴副会長



真剣にとりくむ皆さん



あいさつをする埜尻奈緒子実行委員長



講師は学生さん、やさしく教えてください



研修会風景



懇親会風景

総会では各種議案のあと役員改選も承認され、長谷川宗平前会長のあとを引き継ぎ東和伯会長が就任しました。
さらに、午後6時からの懇親会では学校および同窓会関係者ら多数のご来賓

このたびは税理士大樟会の会長の要職を預かることになりました。この会は、大学同窓会の専門職業集団たる税理士により組織された同窓会の一支部として位置づけられています。種々の活動を通じ、1.自己研修 2.後輩の学習支援 3.会員相互の親睦の3本の柱が確立されました。税理士法に研修が義務づけられ近畿税理士会の研修団体に認定されました。これは大学同窓会としての研修団体の近畿会第1号であります。われわれの研修は、単に実務研修に終始する事なく、大学同窓会の団体としてアカデミックな研修に努めています。また北浜に開講したサテライト大学院に講師派遣の依頼を受け、2単位ではあります。後身の税理士業界参入の一助になつていようと自負しています。こうした事業を円滑に実施出来るよう年2回の懇親会、秋の日帰りまたは

税理士大樟会会長の就任に当たり

税理士大樟会
会長 東 和伯(36回)

がお越し頂き、ピアノ・フルート演奏も交えた楽しいひとときを過ごしました。
当会は発足当初から「研修会のある同窓会」で近畿税理士会も認めた「認定団体」です。さらに懇親会では旅行やゴルフコンペ等活発に行事を行っています。また未入会の同窓税理士の方がいらつしやいましたら、ぜひ、一緒に親睦と研鑽を図りましょう。
税理士大樟会広報部長 帖佐 和孝

重要なことである労働問題
社労士大樟会
会長 久保太郎(31回)
社会保険労務士は、事業主や労働者の要望に応え、労働社会保険関係の法令やその取扱いに精通し、適切な労務管理その他労働社会保険に関する相談指導を行う専門家です。
この制度は、昭和43年6月3日に法律第89号により、労働社会保険に関する法令の円滑な実施に寄与するとともに、事業の健全な発達と労働者等の福祉の向上を目的とする社会保険労務士法として定められました。
当時の社会保険労務士法案の趣旨説明によると、「社会経済の進展に伴い、労働社会保険関係の法規はその重要度を増すとともに、その内容も次第に複雑かつ専門的ものとなりつつ



「社労士大樟会」設立総会に出席の皆さん

あります。一方、今後の経済成長と労働力不足傾向を考えますと、労働問題の重要性は将来ますます高まり、特に中小企業における労務管理の近代化が切実な問題となつてくると思われまふ。このため、これら労働社会保険関係の法規に通暁し、切実な労務指導を行ひ得るような専門家が多く生まれることはきわめて望ましいこととされております。
社会保険労務士は、このように法制定当時から今日まで、一貫して労働社会保険諸法令の専門家としての期待を担つており、また、司法の分野における活躍を期待されていることから、その役割は今後さらに一層高まつていくものと思われまふ。

役員人事を一新し 再出発を 体育会連絡協議会 第8回総会を開く



現役運動部と個人に表彰



熱心な討議が続く総会

体育会連絡協議会(体連協)の平成20年度総会が10月25日、同窓会ホールで開かれた。会に先立ち、07年4月から08年3月までの現役運動部と個人の表彰が行われた。表彰クラブはアイスス

ケート、硬式野球部、水泳部 個人は高松浩巳、追風勝人、上村大輔(以上アイスケート部)、水谷俊介、芦田真史(以上硬式野球部)、上田聡志(陸上競技部)の皆さん。次いで会計報告があり承認された。
活動報告では、体連協としては大学とのコミュニケーションは同窓会本部を通じての意思疎通が重要だが、昨年12月以降これが十分機能せず休止状態であったことが説明された。09年以降は会の存廃を含め出席者全員の意見が求められた。結論として「私立大学の【スポーツ部】に対する社会的評価は年々高まってきたおり、この流れに本学も乗らねばならない。単に要求するだけでなく大学の知名度アップに大学と一緒にやっていく方策を検討していくことが体連協の目的だ。一例として関西大学では運動部のOBが理事に入り風通しもよくなり、大学もスポーツ部の強化にさらに力を入れた」と報告もあつた。

組織を再構築し、再スタートが全会一致で確認された。また、体連協は同窓会の下部組織である以上、同窓会からの強いバックアップが必要との声に佐藤同窓会会長は「体連協の皆さんの思いはよくわかりました。改めて運動部はまとまつているという印象をうけました。スポーツ部が活躍することで、大学の「つながる力」がさらに発揮されると思います。このことは機会あるごとに大学に申しあげていきたい」と答えた。
体連協は人事の若返りを図るべく、会長以下全役員が辞任した。後任は未定。総会後は懇親会で和やかなひと時をもつた。
広報部長 平田義行

本当に真面目な 教員の集団です!?

大樟教育研究会
会長 眞鍋一美(32回)

本学も8万人を超す卒業生を出す大学になりました。それぞれが数々の職業に就かれ、各分野で活躍されていることと思われまふ。
さて、私たちが北は北海道、南は沖縄まで全国各地の小・中・高・大学・行政・予備校等々で「教職」に携わる(携わった)者の集まりです。その数約700名ということ。当初は高大連携ということで、初代会長高橋努氏(現在大学職員)他のご尽力によりスタートし、8年目を迎えました。その活動内容は、年1回40名〜50名が大



滝内大三名誉教授の講演を熱心に聴く

学キャンパスに集い、ある時は大学に厳しい質問や注文をぶついたり、時には現役学生諸君への教職手助けを迫つたりしますが、これもすべて熱い母校愛から出たものです。今後、受験人口が急減していくなかで、会員の役割の1つを「入口担当」と自負し、大学との「つながる力」を保持しているつもりです。
しかし、集まりのメインは、同窓会職員という共通項のもと、教育現場からのナマの実践報告、あるいは研究成果などを肩肘張らずに発表し、全員で熱く討議することにあります。そのレベルの高さ、見識の広さには「さすがに経大卒業生」を感じさせるものばかりです。
本年度も「新学習指導要領を踏まえて」をテーマに掲げ、滝内大三名譽教授の講演を全員で拝聴し、また分科会では44回卒の村上明生先生(義務教育関係)、54回卒の荒川剛先生(高校関係)の地道な実践活動力強い発表を基調として、大いに盛り上がり盛会のうちに幕を閉じました。

東 和伯会長を選出

税理士大樟会 第17回定期総会・懇親会

平成20年7月25日午後5時より「税理士大樟会第17回定期総会」が、ハートンホテル心斎橋別館において開催されました。総会に先立つ午後3時から本学教授勝田泰久先生(現理事)より「現在の日本の金融情勢について」というテーマで、分かりやすく役に立つ研修会を開催しました。

M君へのエール

池野 重男先生

今年私は還暦である。だから、今年の卒業生も多い。40半ばになっ...

ゼミと教科

稲場 紀久雄先生

私は、人間科学部創設以来ゼミ環境を守る戦略「戦術」を開いています。

連絡を待ってるヨ!!

長田 寛康先生

社会人として活躍しているゼミの卒業生から、ちらほら連絡がくる...

片山ゼミ一期生の皆さんへ

片山 麻美子先生

早いもので3月の卒業式が遠い昔のようです。社会人となってがら...

市川ゼミ近況

市川 緑先生

9月に合宿をしました。4回生は城崎温泉、3回生は西はりま天文台...

お変わりありませんか

大津 博子先生 (旧姓川畑)

2005年に着任し、早いもので来年は川畑ゼミ第3期生を見送ること...

初めての卒業生

柏原 誠先生

本学へ着任後3年がたち、この春にはじめてゼミから卒業生が新たな...

読み、書き、算盤

勝田 泰久先生

ゼミ(演習)は、小人数で担当教員との人間的触れ合いは濃いものがある...

お遍路研究の1年

黒木 賢一先生

本年度は国内留学の年で、大阪大学人間科学研究科に私学研修員として...

ゼミの近況報告

平等 文博先生

4年17名は、就職内定も順調に進み、これから卒論の仕上げです。先日...

細井ゼミ近況

細井 真人先生

今年は4年生17名、3年生4名のゼミ生を迎えて、データベースを活用...

大志

六浦 英文先生

「音楽は計算され尽された秩序であると同時に、呪文や呪術を思わす...

生き生きと元気で

古宮 昇先生

私はずっと、「学生たちが、これからの人生をより生き生きと元気で...

休コン日への勧め

松本 良治先生

最近、こんなことが気になってきます。コンピュータでできることは...

『歴史から学ぶ会計』

渡邊 泉先生

ゼミの卒業生の皆さん、変わりありませんか? 皆元気で活躍されている...

歪んだ金融の世界

樋口 克次先生

金融の世界が大変です。暫く続きそうです。今世界的規模での「最後の...

お礼のご感謝

藤岡 里佳先生

昨年の澱江43号を拜見して驚いた。拙著『百貨店の生成過程』を執筆...

新生・第六年

上島 武先生

在職中も運筆・寡作だった私だが、03年3月に退職して格段の自由時間を得たこともあって、ぜひ次なる著作をと思いたち、ようやく最近「ロシア革命史論(窓社、08年)を上梓することができた。これがやつと7番目で、できれば「第9」までと夢見たことも無いではないが、さすがにこれは無理だろう。今度の仕事で幾つか新しい発見もあったことだし、もって瞑すべきか。とは言え世界の風雲ますます急、好奇心だけは旺盛である。

今日の頃

久保田 諄先生

特任教授を退職してから2年目です。その後私の住む地域の行事に参加する機会も増えました。今年も5月15日の葵祭行列に主水司(水道局長官)として衣冠束帯で勤めました。以前に外から見物していた時とは行列の印象がまるで違って、武官や女官列のあまりにもカラフルな人々の中に入ると、周囲の絢爛さに圧倒される思いがします。この美しさがいつまでも続くことを祈るばかりです。わが家に残る古文書の翻刻・解読を始めました。

私の近況報告

鈴木 亨先生

月日のたつのは速いもので、職を辞してより13年余を経ました。教え子達が傘寿と著作集の出版を祝う会をもつてくれてから今年傘寿を迎えました。その間数十年にわたって数は少ないが継続的な交流を持ちました。この数年身の故障に苦しみ、殊に緑内障で活字が読めない状況が続いたが、最近手術で少し見えるようになったので、著書の完成に努力する毎日です。皆様のご健勝をお祈りします。

学会探訪

田淵 進先生

4月から公務より解放されてフリーの身になった。これまで出来なかつた物事に専念できることは幸である。世間とかかわりとして学会とのつき合いがある。5つの学会に所属しているのが全部出るとすると結構忙しい。時代の先端に行く研究報告を聞くこと、旧知の同僚との再会、そして、新しい知己との出会いは大きな楽しみであり刺激となる。現役の所属大学名は失ったが、憚りながら本学名誉教授の肩書を使わせてもらっている。

退職しました

永野 仁先生

3月、72歳で退職。でもヒマジンではありません。外国人留学生のための日本語授業に週2日登校しています。大きな仕事は戦没学生記念施設「わだつみのこえ記念館」です。東大の前にあります。喜福寿寺の境内です。ついで折り返しお立ち寄りください。

たくさんさんの外国語を勉強しています。これまで読めなかつた長篇小説を読んでいます。フランス語の小説は夏までに10冊ほど読みました。身体はいたって健康です。

近況

成瀬 洋先生

外に出ることのあまりなくなつた近ごろは、思い出して20歳前後のころに読んだものを読み返しています。戦中戦後の60余年をへだてて、当時の感動がよみがえることはもうありませんが、はじめて読むような感じがしてみたり、新たに感銘を受けたりで、結構充実したひとときではあります。

時代の影

藤本 周一先生

小生、大経大を退職後、早や数年が経ちます。健保の面では「後期高齢者」なる身分となり、時の巡りが一段と速く感じられる今日このごろです。それはともかく、さいわい健康ですので、古書店へ出向いたり、たまに夫婦で旅行したりしています。ただ、古書店も京都の赤尾照文堂は、京みやげの店となり、神戸三宮の後藤書店や大阪桜橋の高尾書店も無くなって何とも寂しい限りです。時代の移り変わりを改めて考えさせられます。

沖縄の戦跡を訪れて

松原 和男先生

ゼミの諸兄弟にはお変わりありませんか。小生、高血圧など年相応の持病はありますが、先ずは元気に過ごしています。

この夏、沖縄へ旅行しました。沖縄へはゼミ旅行で何回か行きましたが、台風に遭うなど訪れる機会がなかつた南部の戦跡を巡ることができました。とくに、観光地として保存されている遺跡以外に、何の変哲もない空地に残る地下壕の跡にも戦争の悲惨さを痛感しました。今更のようですが、再び日本を戦争に巻き込まないよう努力したいものです。

近況

滝内 大三先生



3月末に退職したところ、6月にゼミ卒業生の皆さんが「勇退祝賀会」をしていただき、感激しました。その時頂いた一眼レフのデジカメで写した写真などをもとに、

老いの歩み

山本 晴義先生

宝塚の山の上のマンションに移住してから2年経ち、老夫婦それぞれに元気に暮らしています。相変わらず格闘しているのは、大阪港の従兄弟の倉庫に預かってもらっている本の整理と、必要な資料の運搬です。それと20年来続けている町の中の哲学のサークルに出、私のゼミ生だった人びとも交えてワイワイしゃべるのが楽しみです。皆様の御健康を御祈りします。

「自らの購読料で『澁江』を育てよう！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました。『澁江』購読料は、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。編集子一同は、このご声援に応え、親しまれる『澁江』を目指し、頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしく願いいたします。(ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。)

『澁江』購読料のお願い

同窓会ホームページもご覧ください！

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくために、HPを作成しております。年間行事予定などがあり、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。休止していました掲示板が復活しましたのでご利用ください。ご利用いただきご意見、ご感想をお待ちしております。



HP アドレス <http://www.osaka-ue-denko.com>

本部だより

本部役員一覧

2008.11.20 現在

氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回
佐藤 武司	会長	30	梅原 猛	広報部	62	大西 健介	監事	35
田村 正晴	副会長	30	廣野 義直	関連支援部長	34	山内 淳子	監事	47
中村 敏啓	事務局長・財務部長	31	梶村 貞男	関連支援部	37			
竹中 亨	事務局次長	32	菊川 和義	関連支援部	59			
齋 貞文	総務部長	30	神田 博	組織部長	30			
宇藤 博文	総務部	28	石橋 隆夫	組織部	32			
渡辺 旭啓	総務部	34	福地 利仁	組織部	39			
平田 義行	広報部長	31	市原 幸恵	財務部	42			
小林 真人	広報部	32	二宮 勉	財務部	65			
秋山 治信	広報部	37	植村 祐三	監事	32			

平成 19 年度収支決算書 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日

(単位:円)

収入の部				支出の部			
科	目	決算額	予算額	科	目	決算額	予算額
前期繰越金		11,586,476	11,586,476	総会費		5,014,534	5,500,000
会費収入		59,745,000	59,500,000	役員会費		1,106,824	1,800,000
總會収入		802,000	750,000	支部費		8,040,212	9,000,000
利息収入		723,369	600,000	事務費		572,118	1,000,000
澁江収入		858,280	1,000,000	人件費		4,440,000	7,000,000
雑収入		42,000	0	旅費交通費		4,256,820	4,000,000
				広報活動費		18,468,359	19,000,000
				名簿調査費		558,732	800,000
				学対費		7,615,366	8,500,000
				諸会助成費		1,006,565	1,200,000
				慶弔費		452,689	500,000
				予備費		0	3,700,000
				次期繰越金		22,224,906	11,436,476
合計		73,757,125	73,436,476	合計		73,757,125	73,436,476

平成 20 年度収支予算書 自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 3 月 31 日

(単位:円)

収入の部				支出の部			
科	目	予算額	摘要	科	目	予算額	摘要
前期繰越金		22,224,906		総会費		5,000,000	
会費収入		57,500,000		役員会費		1,500,000	理事会・常務理事会・各部会
總會収入		750,000		支部費		9,000,000	運営費・支部総会援助
利息収入		750,000		事務費		1,000,000	
澁江収入		1,000,000		人件費		5,500,000	事務局人件費
				旅費交通費		3,600,000	
				広報活動費		19,000,000	
				名簿調査費		800,000	
				学対費		9,000,000	大学祭・クラブ活動援助 他
				諸会助成費		1,100,000	諸会援助
				慶弔費		500,000	
				予備費		4,000,000	
				次期繰越金		22,224,906	
合計		82,224,906		合計		82,224,906	

BOOKS

新刊紹介



兵庫県三田市でご主人と幸せな老後をお過ごしの木下利子(とし子)さんが、このほどエッセイ集「あの海にもう一度逢いたい」を日本文学館から出版された。

木下さんは、戦後間もない昭和 25 年 3 月本学を卒業された。「母の勧めで自宅に程近い神戸女学院に進学しましたが、女の園に馴染めず、二つ上の姉が通っていた本学に、2 年生の時に編入しました。当時女学生は、私を入れて 3 人でしたが、さすがに男の方はよく勉強しておられ、とくに英語はついていくのにやっとの思いでした」と、学生時代を懐かしそうに語られる。

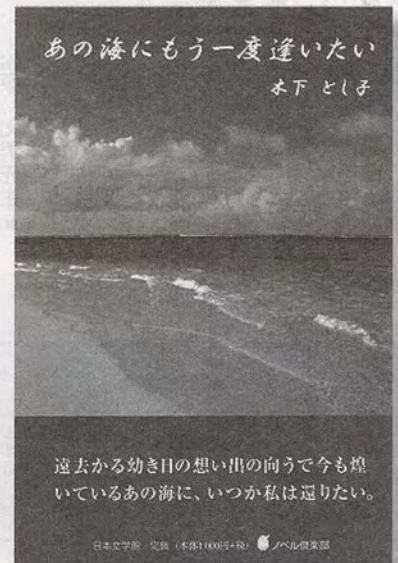
卒業後会社勤めをされたが、「声楽をやっていた」という経験を買われて音楽教師に誘われ、それが縁で小、中学校の教職の道を歩まれることになる。

やがて教職の道を離れてエッセイを書き始めることになるが、それも 65 歳の時、膀胱ガンに見舞われ、障害者手帳を持つようになってから。「何か自分のできるものがないだろうかと考えていたところ、NHKのエッセイ教室を教えていただき、ここで 4 年間勉強しました。もともと書くことが好きだった私は、ある時『雪の日』を投稿したところ、それなりの評価をいただき、それがきっかけでこのエッセイ集を出版させていただくことになりました」と。

学生時代のたった 3 人だった女子学生との出会いと別れ、また幼少の頃、素足で歩いた香炉園や芦屋、打出の砂浜の感触、そこでの地引網を曳く漁師の姿などが行間にあふれ、変わり果てた現実とのギャップに読む人に感動を与える。

「戦前、戦中、戦後の動乱期を生き抜き、時代は大きく激変し、私自身も障害を持つ身になりましたが、『書く』という幸せを見つけ、これからもその時々を思いを掬って書いてみたいと思っています」と物静かに語っておられた。

あの海にもう一度逢いたい
木下 とし子



遠くから幼き日の思い出の向うで今も煌いてるあの海に、いつか私は還りたい。

「あの海にもう一度逢いたい」

木下利子さん (16 回)

本部だより

理事会報告

平成20年度同窓会理事会開催

中平同窓会会長が退任、新会長に佐藤武司氏(30回卒)を選出

平成20年度理事会は、6月28日(土)午後1時から本学E館(50周年記念館)において開催され、まず挨拶に立った中平同窓会会長は「3年間の活動報告・総括」として、1. KEIDAI DAYS、ホームページによるホットな情報提供、2. 会員へのサービスとしてパソコン教室の実施、3. 大学支援―高校受験生増と就職への支援・尽力、4. 同窓会基盤の充実として但馬・北播磨・北摂・北河内(予定)の各支部の誕生および、社会保険労務士の会発足、その他として17歳からのメッセージ・学生マナーアップキャンペーン・学生表彰・留学生支援・部活支援協力を行なうてまいりました。今後大学は生き残りをかけ、少子化対策に取り組まなければならないでしょう。その為には、まず大学と同窓会の緊密な連携協力が必要であります。皆様の3年間の協力で感謝するとともに、若返りのため後進に道を譲る所存でございます。この言葉で締めくくられました。

次に議題に入り、第1号議案 平成19年度事業報告及び収支計算書承認 第2号議案 平成20年度事業計画案及び収支予算案が承認されました。ついで第3号議案 同窓会費代理徴収の方法を平成21年度より変更の件で、中村敏啓(31回)財務部長より説明があり、全員一致で承認されました。

つぎに第4号議案 本部役員改選の

件について、森川義一(25回)選考委員長より新常務理事案が出され、引き続き、新会長に佐藤武司氏(30回)が選出されました。

佐藤新会長は就任挨拶で「つながらる力NO.1で更なる未来に向かってLet's Go KEIDAI」を旗印に、同窓会と母校との連携を密にするとともに、大学発展のための提案や提言をうけてまいりたい。今後よりよい同窓会づくりに邁進してまいりますので、一層の温かいご支援・ご協力をいただきたい」との力強いメッセージが述べられた。

議案審議の中では、スポーツ学術振興引当金の有効活用 堀本修氏(堺支部長)、「特別基金引当金の取り扱い」斎藤満氏(12回)、「人件費の柔軟な対応」大門寿郎氏(29回)、「支部・底辺の掘り起し」山崎敏輝氏(31回)、「支部長会開催の徹底」(会則について)正村公一氏(滋賀支部長)、「支部運営について」平尾哲男氏(28回)、「支部の実態把握」長谷川宗平氏(税理士大樟会会長)等など多くの建設的、活発な意見交換がおこなわれました。

支部長会報告

3支部、1団体が誕生 平成20年度全国支部長会を開催

平成20年度全国支部長会が9月25日、大阪で開かれ、全国から38支部、各種団体から5支部が出席した。本部からは会長はじめ15名が出席した。今年北播磨、北摂、北河内支部と社労士大樟会の職域支部が誕生し、全国47支部、7各種団体と

“つながらる力が大きく広がった。

初めに佐藤武司会長が同窓会の運営方針と任期中の行動目標を8項目にわたり説明した。この中で「会則の不備の是正、事務局の改革、新規支部の立ち上げとして卒回別同期会や支部設立要件50人の緩和、近隣支部特に少人数支部の交流会、スポーツ学術引当金のグループ別運用、会費徴収の変更に伴う財政基盤の見直し、大学の連携強化で定期協議の定着化と大学からの卒業生担当部署の設置及び専任者の配置、卒業生の就職に春秋会の協力の再要請などを強調した。さらに「少子化と大学全入時代という厳しい現在、同窓会は組織をあげて大学を支援していく立場から、私自身ができるだけ各支部を訪問し、ご協力を皆さんにお願いしたい」と述べた。

次に支部長会代表幹事の小谷芳男氏が今期限りで退任を表明され「今後は各地区に副幹事を置き、全国の声を本部に反映したい」と挨拶された。後任代表幹事は小林真人氏(山口支部長32回卒)が選任された。

次いで今年誕生した4支部から支部設立の経緯や現状報告があり、1 同窓生は沢山の母校への関心が低い、2 新支部の運営資金が少ない、社労士支部からは「大学に社会保険労務士の資格を在学中に学生に採らせるよう働き掛けたい」などの意見がでた。島根支部からは地域の広さから支部運営の難しさが訴えられた。また「新設支部からのナマの声が公的な場の中で自由に放しにならないよう、本部の誠意ある対応をお願いしたい」という要望も出た。

総会を終えた後、懇親会が始まり、来賓として今年7月22日就任された勝田泰久理事長と就任5年目を迎えられた重森

曉学長が来賓としてご出席された。

勝田新理事長は「卒業生も8万人を超え、これは大きな遺産です。多彩な職業人を育てていくのが大学の使命で、それにふさわしい教育を進めます。卒業された方とのつながらる力を大事に同窓会とは信頼と親しまれる関係を持ちたい。そのために大学として同窓会にきっちり対応していけるよう担当部署と人員をあてます。4年後の80周年を見据え歴史ある大学の存在感を一層磨きたい」と挨拶されました。

重森学長は「ブランドینگ戦略の指標として卒業生15000人に大学の満足度のアンケートをしたところ、満足が86%、愛着があるが82%、不満が10%という結果で、手ごたえを感じています。入学志願者数は14607人で前年を少し下りましたが、全国私立大学約565校の中では50番目と健闘しております。また就職面では就職率(81%)、就職把握率(99.6%)とも前年を上回りました。これからは卒業生を如何に同窓生として組織化していくかが大切です。皆様のご協力を期待しております」と述べられました。



あいさつをされる勝田泰久理事長

250名が出席
平成20年11月3日
大阪経済大学
同窓会総会



- 1 挨拶をする佐藤武司同窓会会長
- 2 「今年7月から理事長に就任しました」祝辞を述べる勝田泰久理事長
- 3 「大学は順調に伸びています」重森曉学長
- 4 重森曉学長、勝田理事長、佐藤会長による鏡開き
- 5 9年間にわたる同窓会役員をおえた森川義一さん(25回)に感謝状
- 6 吹奏楽部による歓迎演奏
- 7 「プーランはなせ戻ら」で記念講演される梅井靖弘さん(60回)
- 8 総会に先立ち学歌を歌うグリークラブのみなさん
- 9 乾杯のご発声をされる安永玲子さん(30回)
- 10 但馬支部から12名の同窓生が出席、挨拶をされる高本勲支部長(35回)
- 11 和やかな立食パーティ

ズームアップ経大人

(順不同)

戻ってくるブーメランに、戻らぬ人生を賭ける 世界一のブーメランプレイヤー

とが い
梅井 靖弘氏 (60回卒)



私たちの身の回りには不思議なことが多くありますが、空中に投げて戻ってくる「ブーメラン」というのもその1つ、皆さんご存知ですか。

このブーメランの第2回世界大会が06年日本で開かれ、飛距離、正確さ、キャッチを競う「オージラウンド」種目で梅井さんが優勝されました。正確なコントロールが持ち味の梅井さん、プロゴルファーのように風を読みブーメランが戻ってくるまでの軌跡を予測する。「君は風と友達なのか」と、海外の選手が握手を求めたという。

ブーメランを知ったのは「生活の中の数理化」担当教授、西山豊先生との運命的な出会いからです。ゼミの面接で「ブーメランはなぜ戻ってくるのか」の説明後、実際に学生たちに投げさせたところ誰も戻ってこない。が、先生が投げると数秒後に見事に先生の手に戻ってくるのではないかと、もともと手品が好きで、

人を驚かすのが趣味の梅井さん、それが逆に驚かされ押されたようにブーメランの虜になった。先生から借りたブーメランを淀川で500回以上投げたという。先生の指導で次第に上手く投げられるようになり、ブーメランの製作も自分で始めた。

93年の4年生の時全国大会に出場、6位に入賞したが日本で開かれる世界大会では歯が立たなかった。しかしこの頃から「こんな面白いスポーツはない。一生の仕事にしよう」と思い始め、05年会社も辞め、ブーメランの普及のため講習会を開催したり本の出版販売など始めて大会運営に携わりながら見事優勝、日本人初の快挙を成し遂げた。

ところでブーメランは投げれば「重力」に逆らうように戻ってくる。ならば「無重力」の状態ならどうなるか。知人に話したところ幸運にも宇宙飛行士の土井隆雄さんに会うことが



でき、ブーメランの不思議さを話すと宇宙でも飛ばしてみようという快諾を頂いた。ブーメランの投げ方もコーチし何枚かを贈った。今年3月打ち上げられたスペースシャトルの宇宙ステーション内実験でもくるくる回ってちゃんと戻ってきたという。このニュースは世界を駆け巡り日本の新聞でも報道され、見られた方も多いことでしよう。梅井さんは宇宙を飛んだブーメランを「ドリムシャトル」と名付け、西山先生にも見せられた。

ブーメランに魅せられブーメランに賭けた人生、夢に向かって沢山の幸が戻ってきました。この感動を1人でも多くの方に伝えたいと梅井さん。11月3日の同窓会総会で記念講演をされ、最後に会場いっぱい同窓生に投げられたブーメラン、会場をグルッと回りやがて梅井さんの手元に返ってきた瞬間、「おーっ」と大歓声が沸き起りました。

(聞き手 平田義行)

嘘・誤魔化しのない 真剣勝負を

大和リース(株)
代表取締役社長
森田 俊作氏 (45回卒)



本年4月、大和ハウスグループである大和リース(株)の社長に常務、専務の職を飛び越えて抜擢された。

これまでトップの座はすべて親会社の大和ハウス出身者であり、同社生え抜きの社長就任ははじめて。しかも52歳という若さは、社全体に躍動感を感じさせる。資本金217億6000万円、従業員2165名、前3月期の売上げ1370億円の大企業。

「思わず若くして社長に抜擢された理由は何だったかと思えますか」と尋ねてみた。「自分では良く解りませんが、弱音を吐かない、正直に報告し、うそは言わない」というところかもしれません。「苦し

みは1人で負い、喜びは皆で分かち合え」というのが石橋信夫創業者の教えにありますが、それは私が親からもらったDNAか、石橋信夫創業者から学んだ「わが社の生き方」を読んで自然とそうなっていたのかも知れませんね」と、返ってきた。

昭和54年春、大学卒業時に新日本証券にいた叔父の「いい会社だ」という言葉に後押しされ同社当時の大和商工リースに入社した。すぐに富山営業所に配属され、冬の豪雪地帯で営業マンとしてのスタートを切る。同社25周年記念誌史に北陸支店営業係長の肩書で「営業は夢と情熱と義務感」という見出しで「営業は夢で始まり、情熱で発展し、義務感で成功するーこれが当社の営業の信念である」と結んでいる。

「営業におけるリーダーはかくありき」という義務感が社長になった今もますます増幅されているように感じた。最後に母校に期待するものはと話を向けた。「三識ーいわゆる『知識・見識・胆識』というのがありますが、『知識』というのは判断の体系、本を読んだり、人から聞いて学んだ事、『見識』というのは判断力、自分自身の経験によって得られる事、『胆識』というのは行動力、客観的な判断の論理を学び、素晴らしいものの方を磨き、正しいと信じた事をやり遂げる能力だと思えます。大学での学問は知識と見識と胆識の関係を知った上で学ぶものだと思います。『愚者は賢者に学び、賢者は歴史に学ぶ』というように、知識を学ぶのではなく知恵の使い方を学ぶべきで、学校もそうした教育をしていただきたいと思います」と付け加えられた。

(聞き手 森川義二)

今も母校に向けて 最敬礼

ナカバヤシ(株) 代表取締役社長
中林 五十一氏氏 (31回卒)



ンリーワン企業を目指して経営のかじ取りに精を出している。

そんな中林さんの学生時代は、まさに学生運動の華やかなりし頃で、早朝学校を訪れると、待ち受けていたバスに乗せられ、大阪市内の扇町公園の広場でシェパレヒコールの練習をさせられる。

「だから学校で勉強をしたという思いは残っていませんね。ただ幸いなことに、そんな中でも友人には恵まれ、北海道や九州へ周遊券を買ってよく旅行に行ったものです」と、学生時代を懐かしそうに語られる。

「昭和40年春、卒業してある商社に就職を決めていたのですが、当時の社長に説得されて当社に入社、東京支社での営業部員がスタートでした」と。

以来ナカバヤシは、フェルアルバムに代表される事務、家庭用品、シユレツダなど環境・事務機、図書館サポート事業など、最近ではインターネットで注文できるフェルフォトブックと称する写真集作成サービスに乗り出すなど業容を広げ、業績も平成20年3月期503億円、同21年3月期515億円を見込むというように順調に推移している。

「従業員900人、連結で1700人が元気で仕事に取り組めるのも、私は母校のお陰だと思っています。だから東京出張の際、帰路の新幹線座席は必ずA席を取るのです。そして大阪到着の5分前、母校の側を通過する際、お世話になりましたと最敬礼するのです。いま10数名の卒業生がおりますが、幹部社員になる人材を広く求めています。これからもお世話になることと思いますが、素晴らしい人材をよろしく願います」と母校に寄せる期待は大きい。

(聞き手 森川義二)



略歴

大和高田市生まれ。昭和48年経営学部卒。同年大和高田市役所入庁。市立病院医事課、企画課広報広聴、秘書課長、企画調整部部長。20年4月副市長。

生まれ育った郷土で働き

大和高田市 副市長
松田 秀雄氏 (39回卒)

人口72000の奈良県大和高田市のナンバー2にあって行政の推進役をするのは本学39回卒の松田秀雄さん(57)。
卒業のその年に入庁、各部署を経てこの春、晴れて副市長になった。あまり聞き慣れない肩書だが、地方自治法の改正でこれまでの助役をそのように呼ぶようになった。
「いやあ、生まれ育った郷土で働き、そこで大切な仕事をさせてもらえるのは有り難いことです」市域は16.5平方キロしかないですが、市政の施行は県内では奈良市に次いで2番目の古参です。言ってみればコンパクト都市ですねえ」と市域の狭さを逆手とった街づくりも必要だという。

経大卒の同期入庁は3人いて、現在も10人ほどの同窓生がいるというから副市長としては心強かろう。
「ゼミは鈴木亭先生で勉強以外のことも色々教えていただきました。在学時は学生運動の盛んな頃で、いわゆるノンポリ。キャンパスには卒業以来、顔を出してないんですが、いつか機会をみてと思っています。道路で2分された旧学舎が思い出されます。懐かしいですなあ」

「澁江などで見る今とはどこかの高級ホテル並の建物ばかり。駅からの道順わかるやろか」在学生に言いたいことは何事も反省の上になつて将来を見据えること。それから学園生活を一杯に活き、かつ精一杯楽しむこと。頑張る先に必ず道が拓けてきます」。ひととなつこい表情を一瞬緊張させた。

(聞き手 山本長彦)

チャレンジ精神で大空を今日も飛ぶ

ANAボーイング767 機長
相良 徹氏 (57回卒)

ANA全日本空輸の旅客機ボーイング767型機の機長を務める相良徹さん。月の半分は国内はもとよりゲームや東南アジア方面へと国際線も運航されている。見た目はスラリとした細身タイプの方だが、お話を伺っていると、鍛えられた肉体に加え、パイロットに求められる「完全無欠」ともいべき強靱な職業意識を持たれているのが、ひしひしと伝わってくる。パイロットの出身学部といえば、数学や物理に強い理工系を思いがちだが、実体は経済や法科系の文系と半々という。

4年生の夏、ANAの入社試験で1、2、3次テストとすすんでいき、もしかして「採用されるかな」と胸を躍らせた。そして1991年4月、約4000人の応募者の中から見事自社養成のパイロット訓練生として合格、採用された。振り返って「調整性とチャレンジ性さらに行動性が評価されたのでしよう」とおっしゃる。やがてパイロットとして待ち受けていたのは厳しい訓練の連続で、アメリカでのトレーニングはすべて英語でしか通じない。

学生時代、成長著しい中国経済に魅せられ、中国の経済特区に自分の将来を描いた。2年生になり1年間中国・西安に留学。各国



(聞き手 平田義行)

からの留学生と交流を深める中、中国語をマスターするには英語力の上達が欠かせなかった。この時の努力がANA入社に大きく影響する。留学を終え復学後3年生で中国経済論の山本恒人ゼミを専攻。その縁で今も山本先生とは親交されている。
パイロットとして3年6ヶ月の訓練を経て副操縦士として羽田空港に配属された。94年9月4日、関西国際空港開港の日、関空発の仙台行きでフライトの初デビューを飾られた。現在、北京・大連・香港・台湾へもフライトされており、中国との縁は今も続いておられる。
「機長は出発から到着まで沢山のスタッフを動かすマネージメント能力と【安全】(一定時性)を守るのが絶対的使命です」物静かに言い切られる相良さん、多くの人命を預かる空のプロとして、飛行機に乗られる相良さんの背中には実に大きくみえました。

ZOOM UP KEIDAIJIN

米の需要拡大が至上命題

全農やまぐち米穀部長
重宗 雅彦氏 (44回卒)

略歴

昭和30年9月24日生まれ、52歳。山口市出身、昭和49年山口高校卒。同53年大阪経済大学経済学部卒。同年卒業と同時に当時の山口県経済連に経理担当として入会。2年間、大阪市の西日本米穀販売センター勤務を経て、この4月から現職。根っからのJAMN。在学中は、現在は死語に近い英文タイプ部で活躍。現在もクラブ同窓生との交遊は続く。



重宗部長の所属する米穀部の主な仕事は、山口県内で生産される米をはじめ麦、大豆の集荷から販売までを担当。何と言っても最大の命題は米の消費拡大。国民の主食を扱う全農の中核組織を担う。時には、量販店などで率先して店頭販売の先頭に立つ。
「ごはんは、茶碗一杯でわずか30円。その上、炭水化物やビタミン、ミネラルなどさまざまな栄養素が含まれており、こんな理想的な食品が他にありませんか」と、宣伝部長の顔になる。最近では学校給食で徐々に増えている米飯給食を取り入れる割合が増えている。だが、それでも1人が1年間に食べる量は昭和37年に比べれば半分の60kg程度だという。

このところ米を中心とした日本型食生活の改善と消費者の安全・安心意識が高まり、減反政策を見直す動きも見られるなど、重宗部長にとってわずかに明るい話題もある。放置された田んぼが少しでも活用されるなら、食料危機の解消になるだけでなく、農地の保水能力も増し、災害から土地が守られることは案外知られていないと、農業の大切さを強調する。

しかし、このところ肥料や燃料などの農業資材は昨年に比べ160%も上昇し、農家を直撃。

一方では60kg当たりJAの米の買入れ価格1万3000円程度に対し、農家の生産価格は1万6800円と完全な赤字。「もう少し米価の値上げをお願いしたいところだが、このところの諸物価の相次ぐ値上げに消費者の理解が得られるはずもない」と、重宗部長の消費者と農家との板挟みの苦悩は続く。汚染米が市場に出入り、大きな社会問題となっているが、これは論外！
(聞き手 小林真人)

ZOOM UP KEIDAIJIN

世界に向けて挑戦する

(株)タカショー
代表取締役社長
高岡 伸夫氏 (41回卒)



弘法大師と棕櫚(しゅろ)の町として知られる和歌山は海南市の出身で、県立海南高校から本学経営学部に進学。一時は芸能界入りを目指したという経歴の持ち主。現在は安らぎの空間をビジネスステイマに、世界を相手にガーデニングと庭暮らしをライフスタイルにした商品開発と、その制作、販売に注力する企業のリーダーとして奮闘中。
昭和50年3月卒業後、建築金物の商社「マツ六」に就職、3年間東京勤務を経験し、退職後郷里に帰り、父が「棕櫚縄などの園芸用品を製造販売する高岡正一商店」に入店、営業マンとして全国を飛び回る。
しかし同じ商売をするなら自分でやろうと、昭和55年の夏、26歳の時、資本金350万円を父親から借り受け、大学時代の友人と4人で「タカショー」を設立した。
以来10年で10億円、その後の10年で100億円と売り上げを伸ばし、現在では年商140億円、資本金5億7000万円、従業員386名を抱える企業に成長し、すでに株式公開は経験しているが、近い将来東証一部上場をめざすと意気込んでいる。
「風、水、心、光、緑という自然のかわりの中で、より親しみやすい庭づくりをサポートする。つまり庭空間をトータルプロデュースするというのが当社の企業理念ですが、これが国内だけにとどまらず、中国における生産拠点としての役割、ドイツの販売会社タカショーヨーロッパを通じてのEU市場の開発など、ビジネス・デザインの世界のフィールドに向けて広がろうとしている」と、すべてに前向き姿勢。一段の飛躍が期待される。
(聞き手 森川義一)



夢を売る商売に満足

リーガロイヤルホテル小倉
代表取締役社長
奥内 芳和氏 (40回卒)

略歴

昭和25年11月1日生まれ。58歳。西宮市出身。昭和49年3月、経済学部卒。同年4月リーガロイヤルホテルへ入社。平成5年6月財務部長、平成15年6月執行役員。平成15年7月、リーガロイヤルホテル京都執行役員副総支配人。平成16年10月常務執行役員人事部長。平成17年6月、リーガロイヤルホテル本社取締役。平成20年1月から同ホテル社長・総支配人。ご家族を西宮に残して単身赴任。休日にはサイクリングを楽しむなどしているが、いずれも趣味の域に達していないようだ。

JR小倉駅に近づくにつれ西側に30階建ての超高層ホテルが目に入る。これがリーガロイヤルホテル小倉で、社長を務めるのが40回卒の奥内芳和氏。

奥内社長の在学中は学園紛争の真っただ中。大阪万博会場のアルバイトで蓄えた資金でハワイへ。そこで見たものはホテルとか教会が町の中心にあつて、そこに文化を築いていた。自分もそういう仕事に携わりたいと思うようになり、今のホテルに就職したという。

当時、大卒業生は金融機関への就職が多く、多くの友人からは「ホテルみたいなしんどいところは止めとけ」と言われたそうだが「経済も今後はモータリゼーション化して行き、昔の文化も間もなく変わるということが実感で分かっていますからこの道を選んで良かった」と言う。

リーガロイヤルホテル本社勤務時代はバブルを経験し、後始末も担当した。ホテル内店舗の開鎖など苦渋の選択を迫られたが、現在では立ち直り、同ホテルは北九州発展の中核施設として、期待されている。

現在も、外国人に社長自ら対応することもあるそうだが「私の語学力はB級ですから」と謙遜する。「2年後、小倉記念病院がオープンしたり、トヨタ関連の企業の進出が計画されていて、その受け入れ態勢を作り上げたい」と話す。

「泊まっている方のあこがれとか夢を的確に掴まないでビジネスチャンスが生まれませんので、そういう意味では、この業界は非常に面白い」と、新社長のこれからの活躍に期待。

(聞き手) 小林真人



目指すは東証1部上場「快の心」で進め

E-アイテイ社長
矢倉 英一氏 (39回卒)

略歴

昭和23年、和歌山県生まれ。和歌山県立串本高校から大阪経済大学に進み、浅川組運輸、伊藤忠エクスプレスを経て平成7年に株式会社E-アイテイを設立。代表取締役役に就任。

「ちょっと待って下さいね」。社長室を訪れるとネクタイを締めながら、日焼けした顔をほころばせた。

39回卒の矢倉英一さん。トラックや船舶、飛行機など自前の輸送手段を持たない裸一貫の男が物流の世界に乗り出し、昨春、東京証券取引所のマザーズ上場にこぎ着けた。輸送手段を持たない、いわゆるフォワーダー(国際貨物運送業)で海上輸送に特化し、専業での上場は同社が初めて。

昨年の売上高は89億円というから話は大変。

中国に13か所の拠点をもち「アジア、ASEAN地域を固めたあとは欧米へも進出してみたい。次の目標は東証一部上場です」と夢は広がる。

出身校の和歌山県立串本高校では乞われて3000人の生徒を前に「なんでもやってみよう」という思い込みの心。つまり、快の心を持つことが大切ですよ」と持論を説いたと言っ。

「ちゃんとわかってもらえたやろか」実家が漢方薬店をしていたので薬科系を目指したが結果的には、本学の経営学部。鈴木ゼミで禅についての手ほどきも受けた。

「当時のキャンペーンで一番懐かしいのは図書館前の芝生広場。あそこです。寝ころびました。大事にしていたライターをなくしてしまつたことがあります。大経大は生涯の誇りです」

休日には郷里串本の海へ。「この間はイサキが入れ食い。釣った魚を刺し身や煮物にして缶ビールを空けるのが楽しみです」

一部上場も、もはや竿の先。話ぶりから幕末の志士坂本龍馬を連想させた。

(聞き手) 山本長彦

ZOOM UP KEIDAIJIN

ZOOM UP KEIDAIJIN

次号「スームアップ経大人」ご登場いただける方を「ご推薦ください」。—広報部

カヌー競技の総合優勝が夢

財団法人 愛媛県体育協会
作田 拓氏 (72回卒)



「高校時代に知ったカヌーの底知れぬ面白さが、その後の私の人生を決めました」愛媛県体育協会クラブ育成アドバイザーとして、地域のスポーツクラブの普及活動に専心する。かたわら、週に4〜5回は出身の高校や松山市内の練習場で、中・高校生にカヌーをコーチされている。キッカケは大洲高校で友人に勧められるままに入ったのがカヌー部。が指導者もおらず、初めは10分進んでは転覆、風が吹いても転覆の連続だった。しかし「水の上であれば全てが自己責任。まして試合で勝つにはどうすればいいか」試行錯誤の毎日だった。元来、人見知りな作田さん、カヌーに強くなるため教えてくれる指導者には遠慮なく会いにいき情報を集めた。気がつけば驚くほど積極人間に変わり、その前向きな姿勢は学業の向上にも効果があったという。

大学選びはカヌー部があり練習環境も整っており、また就職率も高く社会での実務教育も充実している大阪経済大学は、申し分のない志望校だった。入学後、早速カヌー部の門を叩くと技術を教えてくれる先輩、年間を通じて練習でき

る環境、沢山の練習仲間など、4年間はまさに理想郷に入った心境で、まさにカヌー漬けの幸せな日々だった。4年生の時に、全日本学生カヌー連盟の理事長としてインカレを始め大きな大会の運営を任されるなど、貴重な経験をされた。当時知り合った他大学の仲間は今もカヌーでつながっているという。

「何事も多くの人に教わることで、そしてつながりを大事にすること。その経験が全く関係のないように思える部分で、自分を助けてくれるものです」と真っ黒に日焼けした顔でおっしゃる。含蓄のある言葉である。

そして「2017年の愛媛国体でのカヌー優勝が、私を育てて支えてくださった方への恩返しです」作田さん、頑張ってくださいと思わず手を差し伸べた。

(聞き手) 平田 義行



略歴

昭和45年1月14日生まれ。38歳。福井県勝山市出身。平成元年3月経済学部入学。学生時代は、西日本学生選手権ダブルス優勝が最高。平成4年3月卒業。同年4月NNTへ入社。全日本選手権で第3位。混合ダブルスで優勝、全日本メンバー入りを果たす。その後、トナミ運輸へ移籍。2年連続全国2位。平成13年からNECへコーチとして移籍、現在は監督。現在、同チームは日本リーグ2位。

早くもロンドン五輪へ照準

NEC SKYバドミントン部
監督
今井 彰宏氏 (58回卒)

先の北京五輪バドミントンで末綱・前田組が世界ランキング1位の中国チームを破り、日本人としては初の第4位の快挙を成し遂げ、日本中を感動させたが、あの2人の選手を育てたのがNEC SKYの今井彰宏監督。今井監督がバドミントン始めたのは中学生時代。

大経大に入ったころのバドミントン部は、関西学生リーグの2部に低迷していたが、そこで頭角を表し、その年の秋に1部リーグに昇格。NNTを経て、トナミ運輸在籍中にNECの宮本幸弘監督から「うちを日本一のチームにしてくれないか」との誘いに、当時「もう少し選手生活を続けるかどうかで悩んでいた時期だったので、これからは他人のために頑張ってみよう」と、監督の一言で「自分の迷いが吹っ切れた」と言う。

当時のチームはリーグ8チーム中5〜6位と低迷。週2日の勤務以外は練習に打ち込ませてくれる会社の環境に、良い素材の選手が揃っているのに、これでは環境に甘えている」と徹底的に意識改革を進めて行ったという。

末綱選手は監督が入社した時はまだ2年目。前田選手は今井監督自らスカウトした選手だ。

「監督としてよりも先輩として接している」という。

同チームは、昨年全日本実業団選手権では創部24年目にして初優勝を果たし、「シルバークレクター」の汚名返上。

今や2人の看板選手はオグシオを凌ぐ人気ぶり。今井監督はこの北京五輪でバドミントンをメジャー競技にのし上げてくれたことが一番うれしいという。

これから、早くもロンドン五輪に照準を合わせ、一時も気を休めることは出来ない緊張の日が続く。

(聞き手) 小林真人

2008年の就職環境

1 油断できない情勢

内定先に関しても、日立製作所エヌ・ティティデータ、武田薬品工業、ホーチキ、モリテックスチール、イトーキ、バンダー化学、カナデン、JTB西日本、コーセー、帝国電機製作所、三菱重工業、モリテックスチール

同窓生の皆様には日ごろから学生の就職を始め進路に関して多大なご援助をいただき、まことにありがとうございます。今回は、紙面をお借りいたしまして現在の就職状況についてご報告いたします。

今年の求人受理件数は、9月末日時点まで4071件と昨年同月比で約6%上回っています。4年生の内定率も、10月24日現在60.8%と昨年同月比でプラス1.8%と順調です。一方、来訪企業数は、412社で、前年と比べるとマイナス11%と大きな減少が見られます。この数字からも求人件数は伸びていますが、企業の採用の意気込みという点では、昨年を下回った感があります。一方学生の来室状況は、累計で1904件と昨年を約5%上回っています。これらのデータより、企業は、昨年ほど意欲的ではないが、昨年並みの採用を予定しており、学生の動きも昨年とほぼ同様で、就職率についても昨年並みを維持することができているのではないかと予想しています。

内定率は昨年比1.8%増 昨年並みの維持を予想

山崎製パン、大真空などの大手メーカー、三井住友銀行、りそな銀行などのメガバンク、池田銀行、泉州銀行、オリックス信託銀行、近畿大阪銀行、香川銀行、愛媛銀行、広島銀行、但馬銀行などの地方銀行、大阪市信用金庫、尼崎信用金庫、大阪信用金庫、京都中央信用金庫、京都信用金庫などの信用金庫、新光証券、岡三証券、三菱UFJ証券などの証券、日本生命、住友生命など保険会社、岩谷産業などの大手商社からも内定を得ています。しかし、今年はサブプライムローン問題に端を発した世界的な不況、株安などから企業の業績悪化も見られました。本学でも、2名の学生が内定を取り消されるなど若干の影響を受けています。秋以降の求人も減少しており、最後まで油断は出来ないと考えています。

2 盛況のインターンシップ

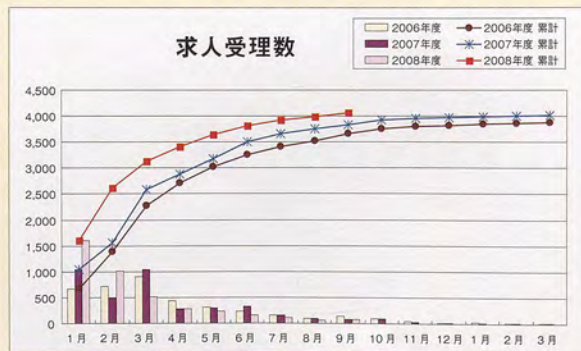
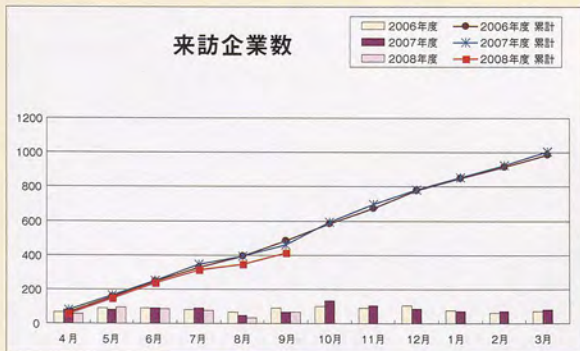
大学としての就職支援の取り組みは、先のミッションステートメントでも述べているとおり、伝統を重んじ企業社会との交流を深めるとともに、就労意欲の向上と就職活動の早期化、就職のミスマッチに対処すべく、低学年次からのキャリア教育に力を入れています。中でもインターンシップは、卒業生の皆様の企業を始め、人事担当のOBのご協力も得ながら、今年も大々的に実施することができました。実習に参加した学生は、515名(昨年484名)でしたが、当初の申し込みは、673名に上り実習を希望しながらその願いがかなわなかった学生がかなりおりました。14業種、220社に及ぶ実習先に加え、13業種34社の公募制インターンシップ先を含め254社に及びました。受け入れ日数は短いもので2日、長いものと22日間に上ります。また、この実習は企業への大きな負担を強いるため、毎年受け入れを継続していただくことに苦労していましたが、昨年、今年は9割近い企業様に継続して頂いており、喜んでる次第です。

3 後輩の進路に関心を

このように大学生の就職は、大学の授業とも関連し、もはや一部の業務ではなくなりつつあります。本学は、理事長・学長両トップの理解の下、教授会、同窓会、後援会の協力を得、エクステンションセンター、教学部学生部など学内の諸機関と連携し学生の就職について全学的体制で取り組んでいます。さらに同窓生お一人おひとりが日ごろから後輩の進路について関心を持っていただければ心強い限りです。今後、私たちが進路支援センターの職員は学生のために何が出来るのか、学生のために何をすべきかを日々自問自答しながら、学生一人ひとりをしっかりと把握し、面倒見のよい、世話好きな職員と言われるように努力していきたいと考えています。

同窓会の皆様におかれましても、私どもの意のあるところを汲んでいただき、引き続きご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

進路支援センター 藤原広太郎



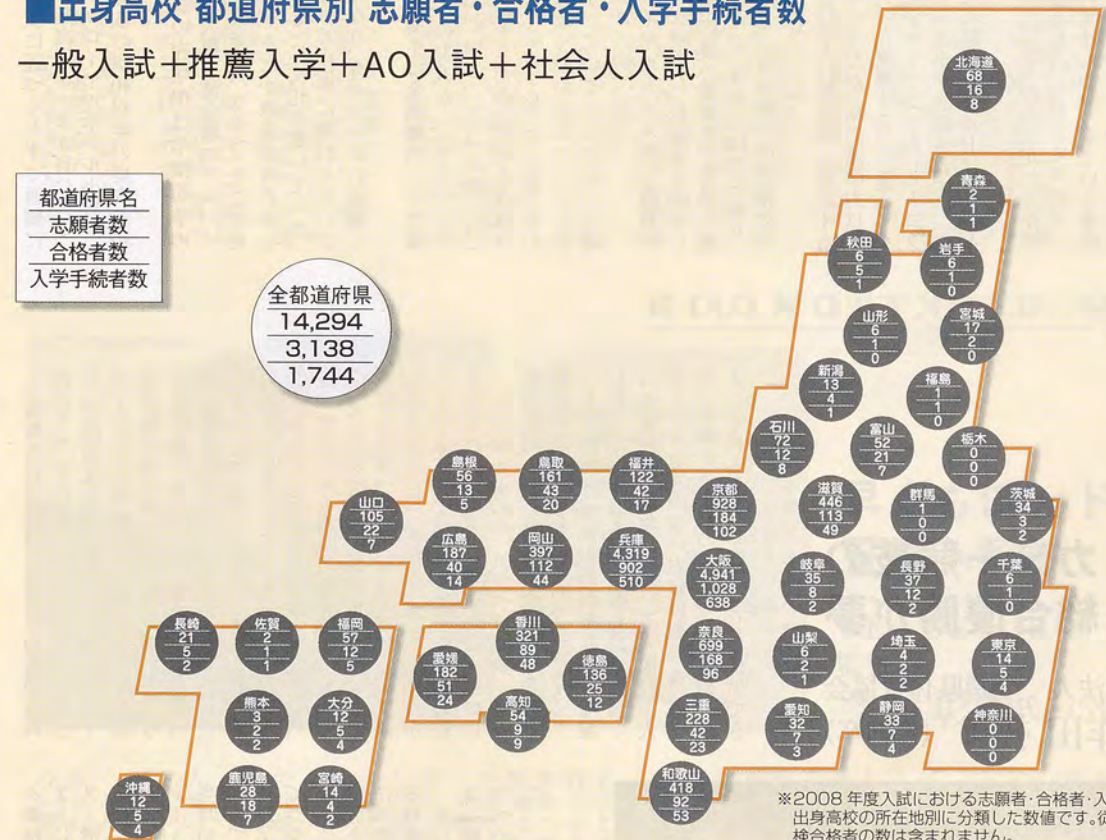
2008年度入試結果

●学部・学科別志願者・受験者・合格者・入学手続き者

年度 学科・履修	08年度				
	定員	志願者	受験者	合格者	手続き者
経済学科 デイタイム履修	350	4,007	3,956	784	403
経済学科 フレックス履修	100	627	617	164	93
経済学科 イブニング履修		260	257	72	37
地域政策学科	150	1,230	1,220	322	182
第1部 経営学科	215	3,060	3,026	479	259
ビジネス法学科	150	1,125	1,116	318	185
第2部 経営学科	100	330	318	153	89
ビジネス情報学科	125	1,171	1,154	264	160
ファイナンス学科	125	1,201	1,180	286	150
人間科学科	175	1,596	1,583	353	219
合計	1,490	14,607	14,427	3,195	1,777

■出身高校 都道府県別 志願者・合格者・入学手続き者数

一般入試+推薦入学+AO入試+社会人入試



※2008年度入試における志願者・合格者・入学手続き者数を出身高校の所在地別に分類した数値です。従って高認・大検合格者の数は含まれません。



2008年経営学部説明会
オープンキャンパス

学 歌

作詞 秋本吉郎 (元本学教授)
作曲 柴田南雄 (元東京芸術大学教授)

1.

大淀の 水は春ゆく ゆたかな春だ
芽立つ葦原 緑が沁^しみる この若さ
希望は明るい 蒼穹^{おおぞら}かけて
永遠の青春 みなぎる学園
大阪 大阪経済大学

2.

大樟の 蔭は裕々 夏風そよぐ
学徒師弟が 幹負^{もみあせ}いもちて 諸汗に
確かと植えた 融和^{シンボル}の象徴
繁れ自由の 花さく学園
大阪 大阪経済大学

逍 遥 歌

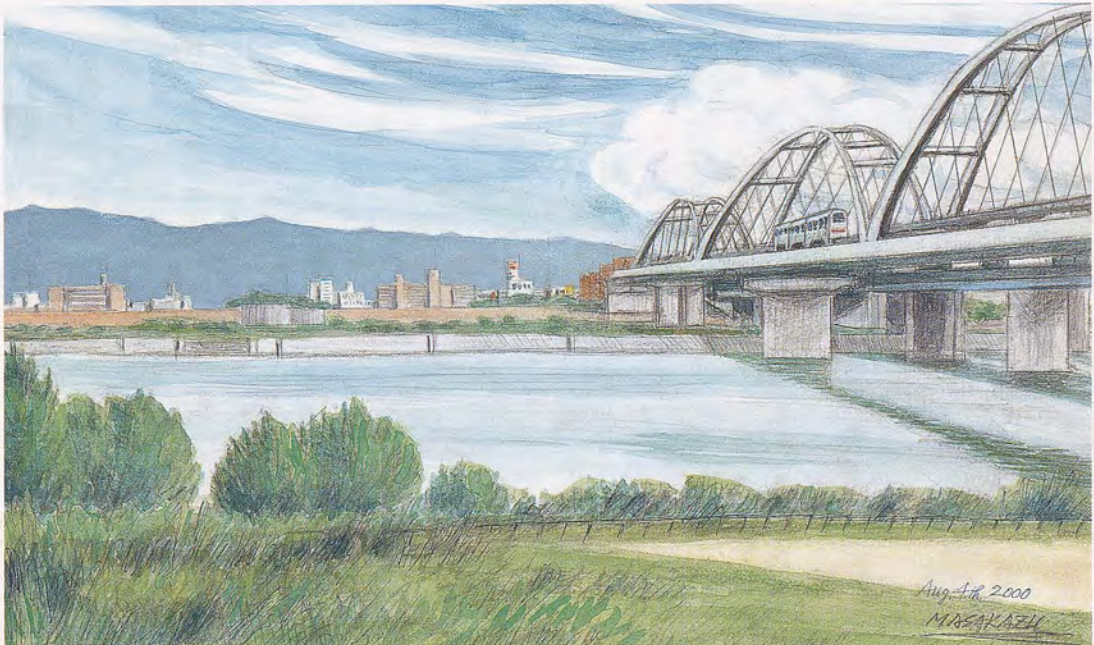
作詞 中村行男 (16回卒)
作曲 松川圭一 (15回卒)

1.

此処 城北に迎えたる
紺碧^{こんぺき}波の春の夢
惜春の賦のただよえば
薫風^ふ静かに流れ来て
逝^ゆきし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり

2.

水や濁れる人の世に
真理求めて遊ぶ子の
友愛^{くおん}久遠に変わるまじ
汝^なが悲しみに我は泣き
吾^わが喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春^{はる}を



学歌、逍遥歌で歌われる母なる「淀川」。

この歌を口ずさむ時、だれもが「淀川」に学び、遊んだ日々を追憶する。北摂、北河内を結ぶ全長5477mの鳥飼大橋と平成6年度から8年度にかけて新しく架けられた淀川橋梁。そして満面の水をたたえ、今日も一日ゆったりと流れる淀川の風情は、時空を超え、今も変わらない。

お知らせ

「淀江」次号(45号)の発行は
2010年(平成22年)1月25日(月)となります。



OSAKA
UNIVERSITY
OF ECONOMICS

でんこう
淀江
2008

■発行日 2008年12月20日(土)
■編集 大阪経済大学同窓会広報部
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 電話 (06) 6328-2431
メール denko@osaka-ue.ac.jp URL <http://www.osaka-ue-denko.com/>
■印刷 凸版印刷株式会社
〒553-8580 大阪市福島区海老江3-22-61 電話 (06) 6454-3256